京城日報

九日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾錢　三ヶ月金壹圓七拾五錢　六ヶ月金三圓三拾錢　一ヶ年金六圓五拾錢（郵送料共前金）
廣告料　五號活字一行金五拾錢　定行一行金七拾錢
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

[illegible]

◎山東在留邦人の被害

山東の暴動は孫一派の革命黨員が入り込みて煽動したる結果なるが我國の迷惑となる可き捏造說を流布し居るのみならず濟南府初め各處に於て日本人の住居を掠奪し或は日本商人の建物を燒棄する等の暴行を爲したるを以て濟南在留の日本人は頗る激昂し居れる由又濰縣に於ては支那官兵の爲め不法にも飲料水に充つ可き水源地の料水供給を阻止しつゝある爲め濰縣にある日本兵は飲料水を得るに窮し居れり(東京特電)

◎勝敗を干戈に決せんとす

馮張相結びて中部支那を固む

南方獨立軍政府正式に成立せり馮國璋は張勳と結び中部支那各省を固め袁總統の退職を以て其時機に非ずとなし南軍の要求たる袁總統退職案を峻拒し獨立軍に對して干戈に訴へ勝敗を一擧に決せんとしつゝあり(東京電報)

◎雲貴聯合政府成る

雲貴兩省の聯合は完全に成立し軍務院を組織し正副部長を置き軍務を統べ唐繼堯を正部長に岑春煊を副部長に擧げ蔡鍔陸榮廷龍濟光李烈鈞戴戡等頭領となり民政方面には梁啓超氏を擧げて長官とし茲に南方政府の形式を備ふるに至れり(北京特電)

◎正式宣言

四川省の獨立

ガゼットの報ずる所に據れば陳宧將軍は正式に獨立を宣言したりと(北京特電)

◎南支警備軍艦

南支那警備艦は更に上村第三艦隊の肥前艦を加へ廻航の事に內命を受けたり(東京電報)

◎黃興橫濱到著

黃興は九日午前十時豫定の如く春洋丸にて橫濱に入港せり(東京電報)

◎佛の兩相と露都の歡迎

最も重大なる問題に關し露國政府と協議する爲め派遣せられたる佛國外相イヴヴイアニ及び兵站大臣トマス兩氏は露都に到著し熱心なる歡迎を受けたり(露都電報)

◎獨軍大活動の前提か

新たなる砲擊の開始

巴里來電に據れば獨軍がミユーズ河西方に於て新たに砲擊を開始したりしは敵がヴエルダン戰を再開し大活動を爲すべき前提なるが如し而して敵の目指せる處は主として三〇四高地にあり五日早曉佛軍は敵の砲擊に依り破壞したる同高地の第一線を撤退したるも今尚山背の大部分を保持し居れり(倫敦電報)

◎米國務卿の言明

獨逸潜航艇戰に關し

華盛頓來電に曰く五日國務卿ランシング氏は獨逸の回答に關し言明して曰く獨逸潜航艇が既に犯せる過失に對し米國は決して容赦する能はず今合衆國は獨逸に對し更に其の潜航艇長に發せし命令の寫を求むべし是れ今回の回答中に記載しある潜航艇長に發せし新命令と比較せんが爲めなり(倫敦電報)

◎米對獨通牒內容

華盛頓來電に據れば米國の對獨通牒は略ぼ完成せるを以て多分八日發送せらるべし該通牒の內容は獨逸が潜航艇戰に關し新たに爲したる約束を遵守する間は米獨の國交が繼續せらるべき事の記載ありと(紐育電報)

◎露債保證有望

我政府より英國政府に對し交涉中の露國大藏證券支拂保證に關する英政府の意嚮は大體に於て我交涉を容るべき形勢にして交涉の前途有望なりと觀測せらる(東京電報)

◎石川選擧訴訟

同志會の運動により取下げとなるべしとの說ありし石川縣選擧訴訟は此儘續行するに決したり(東京電報)

◎立花師團長 歸任

立花師團長は九日午後一時三十九分發列車にて出發停車場內には平壤文武官赤愛國婦在鄉軍人等の見送り盛んなり(平壤特電)

◎名士通過北行

秋山參事官、向井平壤覆審法院檢事長、鳥山同覆審法院長、勅使河原同地方法院判事、同鈴木萬次郎氏等は九日朝高麗丸にて釜山著十時半京城に向け出發せり又た時事新報主幹板倉卓造氏は露西亞、瑞西、英國視察の爲同船にて著釜直ちに京城に向へり

◎起業會社重役來鮮

朝鮮起業株式會社長神野金之助、同重役貴族院議員伊藤由太郎、重役瀧定助、神野十郎、同三郎、奧田次郎等の諸氏は九日朝釜山著大池旅館に投宿釜山鎭埋築地を視察したる上十一日朝發京城に向ふ筈(釜山電報)

◎總督地方巡視

寺內總督は四五日間の豫定を以て忠清南北及び慶尚北道を視察す可く十日早朝出發の事に決せり、隨行者は宇佐美內務部長官、古海警務總長、森海軍武官、池邊秘書官、大藤副官等にして主なる視察地は大邱、清州、忠州、公州なり

◎軍司令官檢閱

駐箚軍司令官井口陸軍中將は近日中に南鮮部隊檢閱の爲め出張の筈にて忠州、全州、茂長、南原、順天其他の諸部隊を檢閱の豫定なるが安藝中佐、小山主計正、古城副官、野津副官、長谷川軍醫等隨行すべし

◎阿部中將入京

築城本部長阿部陸軍中將は要塞視察の爲め入京、馬山鎭海を經て十日午後九時南大門著入京巴城館に入る豫定にて一二泊の上元山へ向ふ筈

◎立花師團長

步兵第七十七聯隊に聯隊旗授與の爲め平壤へ出張中なりし立花第十九師團長は豫定の如く九日午後七時十九分龍山著歸任の筈なり

◎渡臺者歸期

臺灣勸業共進會並に殖民地施政視察の爲め渡臺中なる關屋學務局長、青木商工課長、平井專賣課長等一行は十三日同地出發十七日歸任の豫定なるが青木課長は歸途一行と別れ內地に立ち寄る可しと

◎地測講習終了

荒井長官訓示

四月十日より開催せる道府郡島書記土地測量講習會は豫定の如く三十日間の講習を了へ九日午前九時より總督府第二會議室に於て終了式を擧行したり當日は度支部長官、土地調查局長、稅務課長、各講師等參列、荒井長官の訓示ありて式後總督より茶菓の饗應を受け記念の撮影を爲せり荒井長官の訓示左の如し

第三回道府郡島書記土地測量講習會閉會式に臨み一言諸子に告ぐ諸子は各道講師の懇篤なる教導の下に連日熱心に講究し又實習を了へ、茲に講習會を終るに至りしは本官の欣に堪へざる所なり、本講習會は短期間なりしと雖、之に依て地籍異動整理の綱要及び地籍異動整理の緊要なることを知得したる可し、地籍異動整理の當否は地籍及び課稅の適否を左右するに至り、民人の權威に至大の影響を及ぼすべきを以て其の異動整理は細心なる注意と精確なる技術とに依り極めて正確且敏速に執行することに留意すべし、又諸子は歸任後擧行に對して地籍異動整理法を傳示するの責務を有するに付本講習會に於て修得したる事項を基礎とし、更に技術を練磨し、又關係法規を研鑽し、如上の目的を達成するに遺憾なからしむると共に本講習會開催の旨趣を全うすることに力む可し

因に今回の講習員は總員八十二名にして講習科目は細部測圖法、器械の使用及び點檢作業の操法、測圖實習、異動地測圖法、異動地測圖實習、算法、製圖、地籍圖整理法、地稅講話等なりしが尚ほ土地調査に關する講話、細部測量、異動地測圖等に關する注意事項の講話ありたり

◎吉原總裁東上

馬山に轉療中の吉原東拓總裁は十日夜歸任すべく容態良好につき十三日頃堀江庶務課長外社員兩三名を隨へ二十一日東京に開催の同社定時總會に列席の爲め東上する由尚ほ井上氏は令孃の慶事を濟せし上十五日頃迄に上京すべしと又白鳥株式係書記は數日前東京に向ひたりと

◎支那委員出發

日支連絡會議委員フオーレー、陳國華兩氏及び隨員は十日午前九時十分南大門發列車にて出發奉天直行歸國の豫定なり

◎鐵道委員北行

東清鐵道委員ルゲヴイツチ、ゲーシトル兩氏及び隨員、帝國鐵道院委員木下運輸局長、三上旅客課長、青木參事及び隨員、庄司滿鐵國際主任及び隨員は三木鐵道局營業課長を加へて九日午後九時四十分南大門發列車にて安東へ向ふ筈

◎議定書調印

日支、京奉、東清聯合會議

金剛山遊覽を終りて歸來せし國際連絡會議委員一同は九日午前十時より朝鮮ホテル內の會場に於て先づ日支連輸連絡會議の調印を了し更に記念の爲め撮影を爲し之にて第四回日支連輸連絡會議を終了し更に引續き東清滿鐵京奉連輸連絡會議を開き直ちに議定書に調印を了し記念撮影の上之にて第二回京奉滿洲東清連輸連絡會議の終了を見たり

◎石原宮內次官慶州行

石原宮內次官一行四名は八日午後四時五分著南行にて來邱直ちに慶州に赴き十日再び來邱午後發の急行にて出發歸京の豫定なりと(大邱)

◎脫脂綿大注文

朝鮮製棉四十萬圓引受

露國の戰線に使用す可き脫脂綿の不足に付ては頻に日本に對し約一百萬圓の脫脂綿を注文することゝなり在京露國大使館の手を經て內地の當業者に交涉し來りたるも如何せん現在內地の製棉業者に於ては到底此多額なる脫脂綿の製造を引受くること能はざるを以て遂に朝鮮製棉會社に於て其內一部の引受を申込み來りたる由なるに其後朝鮮製棉會社と內地の當業者との間に種々の交涉を重ねつゝありしが今回其機熟し百萬圓中四十萬圓丈の製造を朝鮮製棉に於て引受くることに決定し社長關繁太郎氏は七日發東上したり、同氏の東上は露國大使館及び當業者等と製造上其他打合のために其れが決定次第直ちに製造に著手する筈なりと、然るに朝鮮製棉會社は資本金十五萬圓に過ぎざる一小會社なれば製品總額四十萬圓の引受を爲すには原料の購入或は加工費の支出に於て到底負擔に耐へざる處なるべければ勢ひ他の方面より補助を得るか又は其證言に依りて銀行等より借入金を爲して之れに充つるより他に途なかるべしと因に同社の製棉は朝鮮の陸地棉も勿論使用され居れども從來は印度の原棉を輸入して製棉し居れりと

◎重石下落影響

重石鑛の下落は墨西哥方面の採鑛增加に原因し其の最大需要地たる米國相場下落しの爲めなる事は既報の如くなるが京城市中の重石買鑛者は均しく二割五分乃至三割方引下げを斷行する事となりしより從來高値に馴れし地方鮮人採鑛者並に仲介者等は前途を悲觀して下落せる現在の相場にては容易に手放さず且つ米國筋の重石價當分騰昂の見込みなき爲め京城の買鑛業者は概して現相場にても其の買蒐を手控への姿なるものゝ如く各所共商談困難の模樣なるが今回俄然として來れる下落の影響は斯界各方面に面白からぬ影響を與へ居れり

◎救護班出發期

赤十字社遣露救護班醫長上野醫學博士は一行を代表して九日午前九時寺內總督を訪問敬意を表し、午後は一同と共に總督府博物館其他市中を見物したり、一行は十日午前八時三十分南大門驛發汽車にて歸東の途に就く筈なり

◎新露大使出發

新任露國駐日大使クルーペンスキー氏は九日露都出發、西比利亞線にて朝鮮通過赴任の途に上れる旨其筋に電報ありたり、但し入京するや否やは未定なりと

◎富士英氏催宴

京城駐在支那總領事富士英氏は九日午後六時三十分より日支連絡會議の爲め入京中なるフオーレー、陳國華兩氏並に大屋長官、小松南長、兒玉總務課長、池邊秘書課長、安藤和田兩參事等を何れも主賓として招待し慰勞の宴を張る

◎釜山貨物停滯

滿鮮より內地航路の船腹不足の爲最近に於ては滿鮮を經由する連絡荷物益々盛況にして其重なる者は豆粕大豆等を主とし朝鮮內地よりも大豆の輸出尤も盛なるを以て釜山第一棧橋ホームに停滯せる荷物は六千噸以上を算するに至り之れが荷捌に就きては晝夜二回の連絡船を以てするも其船腹六百噸內外なれば現在の停滯荷物を全部捌かんには十日間の日數を要す次第なり然るに鐵道輸送力は每日五六百噸づゝを運び來る事とて方鐵及び西鐵派出所にては其荷捌き方に付協議し小谷助役は五日下の關に出張し連絡船腹に付協議し七日朝歸釜せり

◎定例長官會議

九日は定例長官會議當日なるより寺內總督以下各部長官、所屬官署長官、局長等は午前九時より總督府第一會議室に參集、重要政務に就き協議打合せの上午前十一時三十分散會したり

◎總監部恒例講演會　警務總監部憲兵隊司令部恒例講演會第十回は十日午前八時總監部會議室に開催坂東衛生課長の檢黴其他衛生に關する講演ある筈

平壤軍旗奉授式

平壤

▲開廳祝賀の宴　立花師團長は十九師團司令部開廳祝賀の爲め軍旗奉授式終るや直ちに將校集會所西方の松林中に宴席を設け奉授式拜觀者を招待折詰瓶酒の饗應を爲せり▲六九聯隊記念式　五月八日は步兵第六十九聯隊軍旗奉授記念日に相當するを以て分列式を行ひたり

春川

▲檢査官出張　來春中なりし會計檢査官今泉國太郎氏外隨行員三名は當地諸官廳會計事務の檢査を終了し四日は文武官有志の招待宴に臨席し五日午後四時春川發自動車にて多數官民の見送を受け京城へ向け出發せり▲司法官來春　京城地方法院判事野村調太郎氏は書記宮原祝次郎氏外通譯一名を隨へ訴訟事件檢證の爲め五日午後三時春川著自動車にて來春四日間滯在の豫定なりと▲閔子爵來春　閔子爵は隨員三名を隨へ春川郡東山外一作面樟鶴里閔家墓參の爲め五日午後三時著自動車にて來春一泊の上六日午後三時廣橋組自動車を買切り出發せり

木浦

▲記念章傳達式　御大典御擧行當日木浦府廳に於ける御大典記念章賜饌者に對する傳達式は木浦商業會議所に於て厳かなる傳達式を行ふ▲議員の減少　木浦商業會議所議員定數は從來十六人なりしも新定款に依れば會員數百十五名內外なるを以て定數を十二人に改め四名を減少せり而も此の內朝鮮人一名を選出する筈なれば內地人は事實五人の減少なりと▲客月檢米數　四月中本道各檢米所にて檢査したる玄米總數は一萬二千零八十九叺上格一千四百五十七叺下格一萬零四百三十二叺なりと▲支局主催活動寫眞會　當地京日及び每日申報兩支局主催に係る御大典活動寫眞會は四五六日の三日間常盤座に於て開演し晝間は各學校生徒夜間は一般の觀覽に供したるに初日以來非常の好評にてサシモに廣き常盤座も殆んど立錐の餘地なき盛況にて六日夜閉會せり因に一行は七日朝一番列車にて光州へ向け出發す

大邱

▲善山地方農況　先月來例年に見ざる降雨多量にて秋麥は成育頗る良好なるも春麥は多少被害ありて平年作に及ばず棉種は其筋の獎勵により多少陸地棉を栽培するに至れり又苗代は水量充分の爲め目下準備中なり而して市場穀價は四圓四十一錢玄米十圓五十錢を上下しつゝあり▲大典記念章授與式　八日午前十時より慶北達城郡廳に於て大典記念章授與式を擧行す小牟田大邱警察署長及び李達城郡守の訓示あり拜受者は李達城郡守、荒川氏森、李弼鍾の郡書記、面長外合計二十二人なり▲功勞表彰式　慶北達城郡にては八日功勞表彰式を行ひ公山面長金在烈に銀時計、篤志者李根重に銀盃を授與さる▲道路改築請願　達城郡玉浦面檜項洞民は洞內より邸馬間二等道路に接續すべき道路(約七町)を改築したき旨達城郡廳に申請せしかば郡廳にては十日技術員を派出せしめ調査に着手せり因みに洞民自發的に道路改築を申請せしは好現象なり▲達城面長會議　八日より二日間達城郡廳に於て面長會議開會▲慈仁管理者更迭　慶山郡慈仁學校組合管理者廣瀨三郎氏辭職に付き後任として瓜生晉吉氏任命さる

釜山

▲起業第二期工事　朝鮮起業會社は釜山鎭第一期埋立工事十三萬五千坪は完成期近きを以て同社長神野金之助、取締役瀧定助、伊藤由太郎の三氏は近日來釜なし同埋立實地檢査をなし更に第二期埋立工事の件につき高橋克親氏等と協議の上不日京城に向ふべしと▲傳習所建築費補助　草梁の蠶業傳習所にては增築の爲め四月二十一日附を以て本道廳に向け建築補助金申請中なりし處六日附を以て金三百圓の補助支出方認可ありたりと▲記念章傳達式　九日午後一時より釜山府廳樓上に於て御大典記念章傳達式を行ひたるが府廳に於て直接傳達せるものは在鄉軍人府廳員學校職員有位帶勳者其他名望家にして饗饌を賜はりたるものに對しては別途交附すべしと▲小梁川警部赴任　釜山警察署司法部主任たりし小梁川警部は今回統營署長に榮轉し八日午後一時發赴任せるが栗山檢事王丸大尉橋本署長相場警部以下署員一同消防組員其他各官民多數各新聞記者等の見送りありたり

人事消息

▲竹內綱彥氏(久原鑛業鑛務部長)　入京中の處九日朝退京
▲野手耐氏(鎭南浦鎭國部長)　同上
▲中村竹七郎氏(朝鮮瓦斯)　九日朝入京天眞樓へ
▲中村與資平氏(建築技師)　上京中の處七日夜歸京
▲板倉卓造氏(時事新報主筆)　九日午後九時入京の筈
▲秋山參事官　同上
▲鈴木萬次郎氏(代議士)　同上
▲アルス夫人(米人)▲アスボン夫人(同上)▲アンスリ夫人(同上)　八日夜入京朝鮮ホテルへ
▲芥川正氏(釜山日報社長)　九日朝入京浦尾へ
▲野田卯一氏(土木課事務官)　八日全羅北道へ出張
▲池田隆次郎氏(同上)　十日より龍仁郡及び朝用(用務を命ぜらる)
▲山口彥二氏(平北學務官)　內地出張中の處八日入京
▲立花十九師團長　九日午後一時三十分發列車にて平壤發歸任(平壤發電)

◎日本警備兵被害說

上海來電に據れば去る五日午前八時四十分灘縣驛に於て同驛警備の日本兵一名支那人の爲め銃殺されたりと(東京電報)

◎王湖北將軍の獨立通告

漢口來電に據れば湖北省の王將軍は去る六日北京政府に對し省內秩序維持の爲め斷じて獨立す可しと通告したり(東京電報)

◎新軍需品應需回答

日本政府は露國軍需品羅紗五百萬ヤール靴二百五十萬足鞍二萬懸を應需の旨露國政府に對し回答したり右代金支拂方法は露國大藏證券を以て爲す可しと(東京電報)

國際聯合會議々場（朝鮮ホテル）
（中央正面）議長大屋長官より右へ順に木下鐵道院運輸局長、三上同旅客課長、庄司滿鐵國際主任、青木鐵道院參事の各委員。同左へ順にフォーレー京奉鐵道事務總管、陳支那外交部特派員、兒玉局長、三本課長、安藤參事、和田參事の各委員

◎外人の觀た金剛山

世界に誇るべき一萬二千峰

▼天然の美を保存したい

東淸鐵道本社商務部長 ゲーシトル氏談

金剛山の景物は到底本國にては見得ざる處である惜しい哉時日の無かつた爲め全部を見る事が出來なかつたが與へ入れば倘一層いゝだらうと思ふ殊に天氣が惡かつたのは返す〴〵も殘念だつた然し一斑然も

◇代表的な處を 見て來たが全く予の今迄見た處とは別の景色である クリーグルのアルバムの前書に書いてある米國々立公園と比較されて居るのが最も適當だと思ふ。金剛山の道は非常に惡いが此種の山に鐵道を敷設すると云ふ事は却つて絶景を害するものだから其麼事はやめたがよい一體登山鐵道と云ふ奴でズーッと行つてズーッと歸つて來るのでは山の眞相を得る事など出來はしない

◇無論鐵道經營者 側の利益と云ふ關係からは其方がいゝかも知れないけれども予は天然の美を愛する者がある故に能ふ限り此種の勝地の天然の美を存したいと思ふのである隨つて登山鐵道敷設反對論者なのである即ち或程度の處迄は汽車で行き其れから或時は船に乘り或時は徒歩すると云ふ事は山嶽研究などには殊に興味の深い事だ予は金剛山に比すべく本國の各地を思ひ見るに

◇カウカサス方面 には高山が可成りある樣だが予は行つて見ないから樣子が分らない黒海に突出した小半島クリムには絶佳な處があるけれど斷崖絶壁の高い處無く木も大きくない其れから波蘭墺太利のカルパーシアン山は高いには高い寧ろ金剛山の高さ以上に高いけれど惜しい哉樹木が麓の方に小さなのがある許りで中央部以上は禿げてしまつて岩も木も美事なものが無い

◇北極に面した方 には更に奇勝と云つて見るべき處もないウラルの山麓は仲々高く偉大だが是れとても金剛山に比較は出來ない要するに露國は國境に山がある許りで内部には平野が續いてる許りだが怎も總て金剛山に比較する程美事な處が無い

▼世界の遊覽地たらしめよ

鐵道院運輸局長 木下淑夫氏談

何處の國にも國立公園とでも稱すべき風景的美の集注點があるものだ例へば英の蘇古蘭の湖水地の如きがさうだ米のロッキー遊ではヨセミテ溪谷、加州の黄石公園、メーン州の白山、紐育附近のアヂロンダッキの如き皆さうだ中歐では例へばチロンの山中の如きさうだ何處に行つても地方々々

◇是等は國民の誇 であつて國民も政府も直接間接總ての力を集注し經營して居る現にヨセミテヴアレーやエローストーンパークの如き合衆國の議會で議決して國立公園たらしめ國の經費を以て經營し軍隊を駐屯せしめて以て鳥獸草木の保護に當てゝ居る翻つて日本を見るに日本の山河は天然の儘に既に世界の樂園であるが不幸にして或る一地方に政府も國民も力を集注して朝野共に之が經營に當り其の美の充分の發揮を致させる事が不可能であるから遊覽者をして一二週間を同じ地方に

◇飽く事なく行樂 せしめる事が出來ない國立公園は内地でも大に研究しなければならないけれど差當り金剛山などは其候補地として第一に推すべき處だと思ふ勿論内地と樣子も異ひさればとて瑞西の山間とも聊異に云へぬ英の湖水地方などとも趣を異にした火成岩の突屹たる奇削を帶びた處に全く他に類例がない予等今回の行は未だ門にも入らざる程度で引返したので其奧が尚仲々いゝと云ふことだから正に世界に誇るに足ると思ふ然れども天然の

◇風景如何に絶佳 なりとも人工を加へなければ之を充分に賞する事は困難である又同時に山水の美に一種の文學的な審美的趣味を加へる事が出來ない金剛山の美を充分に發揮しようと思へば先づ地質學者、動植物學者、風景專門家、歴史家等の充分な研究を爲し科學的審美的兩方面の研究をし更に必要な箇所は專門の測量師をして充分精密な地圖を作らせ是等の材料により觀覽の便を順序立たしめて道路の改修なり開鑿なりをし何の程度迄は自動車を通じ何の程度迄は人力車を通はせ

◇どの程度からは 歩行に據ると云ふ風の計畫を立てなければ嘘だと思ふ同時に既に鐵道局などでも經營されて居るが道路と連絡をとつて旅客の足留り場所を作る事にする無論是等の道路は總て鐵道と連絡をとる事の必要なのは言ふ迄もなく其間の連鎖たる自動車の如きも贅澤なものでなくて二十人も三十人も乘れる樣な平民的な乘合にする船もいゝが船嫌ひな人の爲めには船無しにでも行ける設備も必要である——是等の計畫遂行の爲めには

◇保勝會の設立 元よりいゝ事ではあるが其れ以上に朝野を舉げて所謂國立公園たらしむるの覺悟をしたいゝ其れに就ての最もいゝ參考は米國の國立公園の制度だと思ふ單に一部の人のみならず新聞の如き雜誌の如き文筆を友にする人達の盡力を待たなければならぬ例へばアイリッシユのウオーヅウオーヅ、スコッチのスコットの如きである高濱碩子が小說朝鮮を書いて大に朝鮮を紹介した樣に大に

◇新領土の山水 紹介に努めて貰ひ度いと思ふ係の如くして紹介したものは啻に内地人の誇のみならず新附の民に向つても幸福を與ふる事となる、今度の各鐵道連絡會議など支那、東淸等各方面の代表者を集めた事故其等の人々に縱覽を請ひ大に各方面に紹介して貰ふと云ふ處置は當を得た事だと思ふ而して瑞西が夏は避暑客を呼び冬はスケートや狩獵の客を呼ぶ樣に天城山の猪狩の樣に金剛山も

◇春夏秋冬の客 を呼ぶ樣にしなければ旅館などの經營がやつて行けない更に夏季に學生の團體を誘致して天幕生活をさせる如きも面白い事だと思ふ——要に種々の方法を講じて各方面から世界の遊覽地たらしむべく努めたならば至極此上なしの絶勝だと思ふ。

□初夏と子供の衞生

□食物は選擇して與へよ□ 乳呑兒が乳離れをする時分からはぼつ〳〵お菓子の味を覺ねて、與へると非常に喜びます。それでつい與へる樣になりますが之には餘程注意をしませんと健全な □胃腸 でも何時か毀すやうになります。といつて絶對に與へないと云ふわけには行きませんから、至極 □輕い ものを選んで少しづゝ與へるとよろしい。それにはウエーハース、カル燒、ボール、園の露などが良く又ビスケットもミルク入りの □柔い のは差支ありませんけれどこれとて幾度も與へてはいけませんから、其非常にほしがる時に、 □氣分 を散らす爲に與へるやう、常からしつけてゐればよろしい。また蜜柑レモンなどの □酸の 勝つたものは決して與へないやうに、そしてチョコレートやコーヒ、ココアは心臟や □神經 に障り易いから之れも與へてはなりません之れは大人がお茶の濃いのを喫んで眠れないのと □同樣 な事です。また殊に注意すべきはドロップを與へることで、子供が嚙みくだいて □喰べ られる樣になつてゐればよろしいが若しさうでないとそのまゝ呑み込んだりする事などがあつて □危險 ですから、之は與へないに越した事はありません、次ぎに日本の干菓子は與へても差支がありません □何時 かも某醫學士が、お菓子の分析試驗をしますと、干菓子には病毒の黴菌が無かつたとの事ですから干菓子類ならば □安全 でよろしい。然しこれも少量でなくてはなりません。是れから段々 □暑さ が加はつて行きますから水菓子類は餘程選擇して與へなければいけません安全なのは □林檎 位で、それも汁丈けを飲ます樣にするのが宜しい。バナナの黒くなつたのなどは □黴菌 の巣の樣なものですから決して喰べさせてはなりません。よく「お乳も何も喰べませんがお菓子とか水菓子なら喰べる」と云ふ話を □聞き ますが、そんな場合には決して喰べさせずに、牛乳にお湯か葛湯砂糖などを少し混せたりして □乳に も趣向を變へて成る可く呑ませる樣にせねばなりません

□山本粂太郎氏の出世物語

月給二圓五十錢から年俸十萬圓

□卑賤から身を起し異數の出世を爲た人々は皆な其れ〳〵の特長があつて後進青年の模範と成る處が尠くない此の間から入京して居た山本粂太郎氏なども確かに其一人であらう

□明治十二三年頃山本氏が三井物産に這入つた頃はまだほんの小僧であつて月給も僅かに二圓五十錢であつて其の内から食費として一圓五十錢を引去られたから月々財布に這入る金はタッタ一圓切りであつた □然し多年の奮闘努力は遂に年俸十萬圓近くまでに昇進したものだが最初受取つた二圓五十錢給與の辭令と其後薄い給料の内から十年間に通じて一圓宛月々預金した其通帳とは當時を偲ぶ記念として山本家の什寶として珍藏せられて居る

□苟も自個負擔の仕事たる以上些事も忽諸にせぬは大事を成就する要素である豐太閤が藤吉郎の昔常に草履を懷中に溫めて信長の意を得た一事は山本氏が常住服膺した信條である

□曾て益田孝氏が御殿山の邸へ朝野の名士を招待したる時に其の頃流行のチャリネの曲馬を餘興に觀せる事にしたが山本氏は其餘興委員の一人に拔擢された生憎其の前夜から豪雨盆を覆へすが如き有樣で委員等も手を拱して窮迫出る所を知らなかつた

□新に作られた馬場は一晩雨に打たせて置けば汚濘馬蹄を沒して到底曲馬を演ずる事も能きない山本氏は乃公の腕を示すは此時なりと東洋汽船會社の田坂氏が當時某會社の船長として品川に碇泊して居る事を思出し直に其の所に馳往き田坂氏を說き付け船の天幕を悉く借りて來た

□さうして宵を徹して馬場一面を被せて一夜の内に出來上り洲股城の故知を學んだ膽氣はやがて益田氏の知遇を蒙る基とはなりぬ今日ならば天幕は隨處に求め得るが其頃は廣い東京市中を尋ねて歩いても一枚の天幕すらも無いと云ふ時代に此の機轉を示せる山本氏の面目躍如たるものあるを覺ゆ（つゞく）

◎東久邇宮新王子御命名式

十二日擧行あらせらる

東久邇宮稔彥王妃聰子内親王殿下には豫て御姙娠中の處六日午前二時御分娩芽出度く王男子御誕生遊ばされ御母子とも御健全に渡らせらるゝ事は既報の通りなるが右に付き殿下御產氣の御模樣あるや五日午後十一時過ぎより伊達、岡田兩式部官は御沙汰により御產殿に參候し御安產の吉報を拜承すると同時に宮内省に急報し與き邊に奏上の手續きを爲し波多野宮相は直ちに宮内省告示第四號を以て其旨告示せるが御命名式は來十二日の佳辰を以て同宮御邸に於て行はせられ山口圖書頭は皇室誕生令の規定により皇統譜に登錄し御命名の旨宮内省告示公表に伴ひ御祝儀として兩陛下より御產衣地並に交魚を賜はる由承はる（東京）

◎秘密を抱いて玄界灘へ

若き婦人の投身

門司より喜義丸に乘船せる大阪北區天神橋通四丁目大出てる（二一）は一日門司を出帆して同船が玄界灘に差し蒐りたる眞夜中人知れず身を海中に投せり屍體は航海中にて發見し得ず其原因等不明なるも船客の談話を綜合するにてる子は大連市西公園町の鍛冶屋中川某なる親族を賴りて渡航せるものにて原籍は廣島縣のものらしく大阪に嫁入後は姑、小姑の虐待を受け堪へ兼ねて渡連を決心し所持の金指輪を賣りて旅費に當たりと乘合客に語れることあり出帆後も船中にて悲觀し居り時々に涕泣せることもあり又門司にては易者に身の上の判斷を乞ひたる形跡あり又碇泊中沖賣商人より購求したる小說本笛村子著「此秘密」と墓口一個遺留しある外其他事情を語る何物もなく或は此小說に依りて刺激され一時に死ぬる覺悟を定めたるにはあらざるかと思はるゝ節もあり船客何れも同情の涙に暮れ居たりと（大連）

◎刑事と稱して無錢飲食

京城黄金町三丁目界隈の飲食店に昨年十一月以來本町署或は鍾路署の刑事巡査なりと稱して出入し盛に無錢飲食を強請する不敵の曲者ありとの噂を聞き込みたる所轄本町署にては極力犯人の逮捕に努めたる結果此程遂に件の曲者を取押へて本署に引致し取調べたる所此者は三重縣安濃津郡藤水村生れ當時京城積善洞居住の洋服職工伊藤卯吉（三四）とて昨年十二月十日黄金町二丁目飲食店千鳥事前田某方に赴き本町署の伊藤刑事なりと詐稱し一圓五十錢の無錢飲食をなしたる上前後數回同家に至り遂に同家の雇女二名を弄びたるを手初めに一月九日には黄金町二丁目の飲食店梅津某方に至り主人に對し汝が暴行犯の爲め本町署に引致されたるを放還さるに至りたるは自分の力に依りたるものなりと稱して一圓餘の無錢飲食をなし倘ほ黄金町三丁目の某飲食店に至り捕繩を示して刑事巡査なりとて同樣飲み倒し其他林町の某飲食店にても同樣なる味を占め飲食店を荒し廻りゐたるものなりと

◎狂犬五名を嚙む

龍山青葉町三丁目野田留次郎の飼犬は去る四日元町二丁目二番地正木茂（六）同町六十一番地因幡正行（八）岡崎町九十四番地山本菊枝（四）青葉町三丁目九十番地西口きよ（四）京城本町四丁目百五十一番地豊島茂勇（一九）の五名に嚙付き漢江通十五番地知識伊太郎の飼犬も同五日漢江通り十五番地赤木文雄（三）に嚙付共に撲殺したり

◎愛媛縣人會

岡正央、大久保雅彥、矢野義次郎の三氏發起となり十二日午後六時より千代本に愛媛縣人會を開催する由、會費は三圓にて多數の出席を希望すと

◎國境地方大吹雪

鮮人一名凍死

五月七日の暴風にて咸鏡北道淸津にては内地人支那人各一名死負傷し又雄基地方は大吹雪の爲め朝鮮人一名凍死を遂げたり倘建物船舶等の被害多き見込にて目下取調中（淸津特電）

演藝案内

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
黄金町四丁目 電話二六三七 黄金館
五月六日より差替特別大寫眞
○滑稽 サンミーの [illegible] 銀貨（ ）喜劇 サインの夢 ▲市川右團次の十八番
◎舊劇 細川血達磨 最長呎 [illegible]
◎喜劇 [illegible] 會社特別作品 總裁士官 全四卷 [illegible]
◎ 白菊草紙 全三卷 [illegible]
◎琵琶史劇 石童丸 最長呎 [illegible]

本町 電話五七八 壽座
▲改正 義團一行 五月十日藝題
貴女秘密 [illegible]

明治町 電話二六〇番 浪花館
大阪親友派女流浪界の名人 廣澤千代 廣澤小菊丸
五月七日より ▲大名五郎藏（廣澤千代）▲千兩幟（廣澤松扇）▲天保利根の血煙（廣澤虎一）▲刑事苦心七化お瀧（京山光治）▲丸龜の大仇討（座長廣澤千代）▲辨慶勸進帳（顧問廣澤虎吉）
○入場料 [illegible] ○晴雨に不拘毎日午後正六時開演仕候

壽町 電一〇五〇 壽館
九、十日兩日（午後六時開演）
素人淨瑠璃春季大會 若葉會 竹本梅若
[illegible]

櫻井町 電話八七三 大正館
五月五日より特別大寫眞
○實寫 歐洲戰亂 [illegible] ○滑稽 [illegible] ○新劇 [illegible]
◎舊劇 江戸の俠客稻葉新助 全三卷八十二場
▲伊太利サヴイア會社傑作
◎泰西奇談 呪の寶石 全三卷六千呎
[illegible]

御成町 電話二九一 御成座
三府合同歌舞伎 市川海老松 阪本龜鶴 大一座
五月十一日目替狂言
前狂言 [illegible] 左甚五郎 全五冊
切狂言 [illegible] 全二場
入場料 一等四十錢、二等二十五錢、三等十錢

酒煙草きらひになる藥

禁酒丸……禁煙液……
酒や煙草の好きな人が嫌ひになる郵券二錢送れば不思議に心から大澤博士の說明書及其他名士の禁酒禁煙論進呈
本舗 大阪市紳南通二 森田商店

てんかん

病で時々ヒキツケ種々の手當も効なく困難の人切手三錢送れ永年の病も自宅にて人知れず秘密になおす最善の良藥をお知らせ致し升
◎名古屋市中區南小川町 救生館

腦病良藥 レーベン

岡田博士を始め森、日向、飯島、福田、内田氏等十有餘名の醫大家か有効を證明し賞讃推奬せらる。本品は最高貴藥腦の營養素リンサンを多量に含有する無比の良劑なり故に腦病、神經衰弱、頭痛、眩暈、不眠、記憶力減退等の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容積と体裁を貪らず服用量極めて少くして効顯極めて大なり
藥價（三十錢。五十錢。一圓六十錢）
東京日本橋區通油町 發賣元 中南定太郎 振替東京三三四番
大阪安土町堺筋 中南定太郎 振替大阪三三四番
信用ある藥店に有り無くば直接注文乞ふ

牛乳

榮養 純粹 ヨーグルト
衛生監督指導 太正獸醫肥塚博士
京城西大門町四 東亞牧場（電話二五一番）

父友太郎儀病氣中の處養生不相叶五月八日午後二時死去致候條此段生前辱知諸彥に謹告仕候
追て葬式の儀は五月十日午後五時途中葬列を廢し西本願寺別院に於て相營み申候
仁川山手町二丁目
男 渡邊周平
弟 渡邊新藏
親 慶田利吉
川添三次
田中佐七郎
戚 山口太兵衛
大正五年五月九日

京城の城壁（9）

遞信局技師　橋本欽四郎氏談

（橋本氏は曾て富士登山や昔の金剛山を踏破した人で城壁巡りを試み判事法院長などと同じく日本山岳會々員の一人です）

私はこれまで北漢山に廿餘回登攀し白岳にも前後數回登りました、城壁巡りは今から二三年以前役所の人々と共に試みて見ましたが（當時は二月下旬で山路にはまだ殘雪があつたにも拘はらず非常に愉快な經驗を得ました、其の後城壁の一部分づゝを見て歩いた事は數へ切れない程屢々試みましたが何れも言ひ知れぬ愉快を感じました、私共が城壁巡りを行つた時分には這回の團隊と異ひまして先づ初めに漢陽公園に勢揃ひしそれから東に向つて東大門、東小門、肅靖門、白岳、仁王山、西大門と廻りましたので詰り今回のとは反對に歩いた譯です、われ〳〵の足では城壁巡りは一日に二回位るやつて相當の道程かと思ひますが普通の人には一日の遊びとして最も適當だらうと思ひます

城壁の周圍は長さ四里餘りとのお説のやうですが途中城壁の登り降りも相當に激しいので先づ六里の道程は充分覺悟しなければなりません、路は概して危險の箇所は無いやうですが普通の人に鳥渡困難かと思はれるのは先づ漢陽公園から南山の絶頂に登る處の坂道（路は無論城壁に添うてありますが）と、北方では白岳の上と仁王山位のものです、白岳では城壁に添ふて進むと終ひに景福宮の方に降つて來ますので吾々は城壁の外側を通りました、併し

路が急勾配で登るのに骨が折れるだけそれだけ四方の展望がよろしく殊に白岳の絶頂から脚下の京城全市遠くは帶の如き漢江などを下瞰する時の愉快さは到底登山趣味の無い人にはおはなしになりませぬ、白岳はまた大きな松の樹もあり寫眞を撮るにも最も面白き場所ですがあの邊りで辨當や菓子包みを開けば蓋し非常な愉快だらうと思はれます、仁王山の絶頂も亦眺望はなか〳〵によろしく彼處はむかしから虎の名所として識られた山ださうです、吾々は幸にして猛虎のお見舞を受けませんでしたが

朝鮮の虎は昔から仁王山に登らぬと估券が下るさいつたもので從つて朝鮮中の虎は一度は此所に集まつたものだ相ですが此の傳説はなか〳〵面白いと思ひます、京城の城壁廻りで面白いのは始めから終りまで常に分水嶺の峰つゞきを歩かれる事です昨今山岳趣味の人達は單に高山や深山の横斷のみならず此峰つゞきの縱走を興味ある事として居りますが這回の城壁巡りはこれも眞當の縱走であつて脚下には常に京城の市街及び郊部の景色が指呼の裡に集まるので普通の登山よりも餘程興趣多き事と思ひます、途中は古き歴史上の見物も面白いことですがまた有名な南・靈化や黃色な北漢山菫花などを研究するのも面白い事です

序に私は北漢山城の城壁巡りを企てたこともありますが彼處は北門から洗劍亭に出で更に三溪洞を進む山路で京城から約三里ばかりもありませう、北漢山城の城壁はわずかに周圍二里といはれて居りますが城壁は櫻の名所牛耳洞、加五里の眞上あたり迄が關の山で白雲臺あたりは容易に近づく事も出來ません、城壁の高さは京城のものよりも稍々低いようですが昔の謂ゆる行宮のあつたあたり今でも警官の派出所があり人家の數戸あるやうです、私の經驗から申せば城壁廻りにはなるべく靴よりも草鞋の方が便利です

●群山演藝大會盛況

（本社群山支局主催群山座にて）

本社群山支局主催に係る群山開港十七週年祝賀を兼ねたる市民享樂演藝大會は既報開催日變更豫定の如く六日七日の兩日に渉り群山座に於て開催したり第一日は前夜來引續きたる雨天にも拘らず觀客は場内に充滿し夜に入りて氣溫甚しく下降せるにも關せず來觀者は滿員札止めの大盛況にて出演の重なる者を擧ぐれば京城より態々來演せる井上旭景女史村旭汀女史群山春風會員の筑前琵琶群山若葉會員新月紅裙合同の喜劇同花人萬天群員の淨瑠璃繁葉會の小供劇手踊花月紅裙連の手踊難波琴師匠門弟其他有志の音曲合奏等ありて來觀者には福引景品を出し觀客の感興湧くが如くなりき（群山）

京城日報毎日申報各支局主催　御大典活動寫眞

■大　田（九、十日晝夜　十一日晝夜）　■仁　川（十二日晝夜　十三日晝夜）　■大　邱（十四、十五、十六日晝夜）　■釜　山（十七、十八　十九日晝夜）

京城日報、毎日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

活動寫眞謹寫巡業日程

■大田—大田座—（晝間午後一時より　夜間午後七時より）番外實寫物—滑稽物—西洋奇術

主催京城日報、毎日申報田一大手販賣所小倉新聞舖

雜俎　朝顔の種類

□夏より秋にかけて庭園を賑はすものは何んと云うても花期が長くて、變化の多い牽牛花が一等でせう、朝がほにつるべとられてもらひ水、悟んな風流も朝顔でなければ見られない所です□通常は漏斗狀の花が咲くのですが稀には深く裂けた離瓣花冠とも稱すべきものもあります。またその裂け工合によつて、いろ〳〵の名がついて居ます。□桔梗咲と云ふは裂け方が極く深く花の恰好が桔梗に似てゐるからで、此の桔梗咲より裂け方の一層深いのを剣咲と云ひます。

□又桔梗咲によく似て裂瓣が一定の方向にねじれてゐるのは風車咲と云ひます。形が風車に似てゐるからですが、中には六つに裂けてゐるものもあつて、これは六曜咲といふ□同じ六つに裂けてゐても其の裂瓣が抱き合つたのが抱咲と呼ばれてゐます、また瓣が細く切れてゐるのは細切咲、細切咲によく似て多瓣なるは狂ひ獅子咲と云ひます。□其他雄蕊が花瓣に變じた樣子のを孔雀咲、花冠の内底の筒が折れたのを茶蜚咲と云ひ、この茶蜚の中より花瓣が五六瓣吹き出した樣なのを茶吹上げ咲と云ます

□牡丹咲とは謂所八重の八重で雄蕊も雌蕊もなく花全部が花瓣になつてゐるのを云ひます。また此の牡丹咲に瓣が出て瓣の先に風鈴を垂れたような物のあるのを風鈴牡丹咲と云ふ□其他花瓣が縮んでゐる縮緬咲き風鈴獅子咲、風鈴獅子牡丹、采咲など約百四五十種もあります。花輪の大きさは直徑三寸五分位までを中輪と云ひ、それ以上を大輪と云ひます。大輪には六寸以上になるのもあります□又牽牛花は主として花を觀るものですが、近來は葉もなか〳〵見事になりました。笹葉、桐葉、掬水葉、南天葉、柳葉、斑入掬水葉、蔦葉、縮緬葉、紫蘇葉、手長など名高い丈けでも五十種からありませう。

商況

東京株式特電

九日　前場寄付／大引

銘柄	前場寄付	大引
日本郵船	一九、三〇	一九、三〇
京城電氣	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	一六四、五〇	一六四、四〇
同新	一四五、一〇	一四五、四〇
日本郵	[illegible]	[illegible]
東株第一	[illegible]	[illegible]
東株第二	[illegible]	[illegible]
東新第一	[illegible]	[illegible]
東新第二	[illegible]	[illegible]

債券現物特電

九日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮瓦斯、南滿鐵道　一四八、五〇

東京公債直取引特電

九日出來値段（前日との比較）　九六、一〇

深川在米特電

五分利公債　八二、三〇　八一、三〇　九五、九〇

東京期米特電

九日現在高　朝鮮米　一〇〇、四八二　内地米　八三、二〇〇　二、〇五九、四二七

大阪期米特電

九日前場　七月限　一四、九四　一四、九九　一四、九三　一四、九八

大阪株式特電

九日前場　當限寄付　一四、一五　中限寄付　一四、七一　先限寄付　一五、一八

大阪三品特電

銘柄	綿糸込	前日比
鐘紡	[illegible]	[illegible]
富士紡	[illegible]	[illegible]
天満	[illegible]	[illegible]
攝津	[illegible]	[illegible]

下關期米特電

九日後場

限月	寄付	引値
五月限	一三、二七〇	一三、二八〇
六月限	一三、二八〇	一三、二八〇
七月限	一三、三六〇	一三、三七〇
八月限	一三、三一〇	一三、三三〇
九月限	一三、四〇〇	一三、三六〇
十月限	一三、四九〇	一三、四二〇

朝鮮物產特電

馬山改玄、群山改玄、木浦改玄、同上改玄、仁川改玄、南浦改玄、釜山改白、釜山改玄、京畿改白、仁川中白、川龍白　[illegible]

雜報

●石油の其後　益々引締

今不需要季節の事とて賣行頗る閑散なるも併し外油は本國に於ける高値の折柄とて內地の引合は不利なるめ傾向あり

安協に應ぜざる振合

京城正米

[illegible]

各地商況

○大邱（八日の穀物）　[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米も堅らず　[illegible]

確實　迅速　仁川米豆取引所仲買人　[illegible]

●粗布値上げ　綿糸の好勢と織布界の前途を樂觀するに至り此際內地市場に於ては思惑的の買試み漸く盛んならんとするの傾向なり從て相場も近來ヂリ〳〵上向歩調を辿り八日の大阪入電は遂に龍シーの四圓九十錢を報ずるに至れり當地も此勢ひに刺戟せられてか直ちに粗布の値上げとなり同日より

二圓上げの百三十五圓

賣の實行を見るに至れり

●綿糸小弛む　今春來の新高値を見せたる綿糸も餘り一氣に行過ぎたるが今前場は當限七十錢安先限三十錢安に寄付引値は寄付に比し當限十錢方を戻して止めたるも先限は更に七十錢安を報じたり

●砂糖建値引下げ　砂糖は依然逃戰狀態にて當分向は難値を引緩め離き事情にあり一般糖界の取引實狀を目撃し如何に拘はらず市場の引下げを迫りつゝあるが如く建値の如き

三十錢の値下げ

は既に發表したる程なるが今日の相場は僅ほ會社値段と二十錢方の下値にあれば今回の値下げは此假格別の影響なかるべし

●塗料類閑散　塗料類は前約の結果相場は引續き上進し高値なる爲め賣行閑散なり殊に輸入品は從來の

三分一に減少

したれ共賣行不振の爲め不足の恐れなし但此後賣行好調の曉は一層引締らんか

●移出糖弗々　移出糖は依然注文弗々ながら絶えざるも未だ價格上進を見るに至らず運賃の關係上常に商談不利の關り合なり

●乾海苔平靜　乾海苔は産物の出廻りも昨今殆ど終末に達し且つ市場需給平靜なるが今後は地方の狀況如何によりて幾分の變動を見るならんも大勢は七月頃迄先づ此儘にて推移す可き模樣なり

京城雜穀

前場模樣格別變動なし

南大門の廻穀

平壤玄米二五七叺　平壤玄米一九七叺　京義路白米一三叺　平澤白米一〇二叺　水原白米三〇叺　水原白米六四叺　[illegible]

生魚市場

本日の著荷中宣山鯖尤も多く鯛も群山統營物を合せ可成りの入荷あり元山物は過日廻送の延荷あり値段左の如し

タイ一八、アマダイ一二、チヌ一〇、サワラ一七、スズキ七、ヒラス一六、サバ一、ヒラメ七、カレイ六、アナゴ九、コノシロ一七、モエビ二〇、ニベ七、アワビ一八、ヒラゲ七

仁川現物市場

▲正米中白米六十叺　▲大豆入荷なし　[illegible]

仁川期米

九日前場

市場零聞

▲前場底強し　▲更に新高値　▲大阪の小甘さに反し強硬の成行　▲上走ら形勢　▲變動期近し　▲從來の成行と大に趣を異に　▲上岐れの形勢　▲岐れ形勢更に保合上　▲理想買感念強し

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　利仲買店　[illegible]

仁川米豆取引所

九日の七月限

寄付	十一圓八十九錢
止め値	十一圓九十二錢
高値	十一圓九十三錢
安値	十一圓八十九錢
出來高	一萬四千百石

前場　平均値段

一節	十一圓九十錢
二節	十一圓九十一錢
三節	十一圓九十二錢
四節	十一圓九十二錢
五節	十一圓九十二錢

賣買取組高　五月限　六月限　七月限

北濱だより

八日後場

▲冷靜なる觀察

▲穩健派の根據

▲東洋紡績株

▲製布株

[illegible]

時間正確　此品無代進呈

●大阪市西區御池通六丁目長尾商店呉服部にては顧客に誠實安價なるを擴め爲め左の流行品を此期節に利用めんとの大英斷を以て利害を顧ずセル地新柄流行品質優美一見高價なる舶來品と見分難き別製品壹反只の貳圓廿錢甲一反貳圓六拾錢甲上一反參圓廿錢で又本年新柄流行絹縮緬兵兒帶無地上等中巾八尺物一圓九拾錢同大巾八尺物貳圓九拾錢同最大巾甲一丈物四圓貳拾錢にて尚ほ其の上に兩品と各壹品毎に前記圖の如き十六形時計も正確なる實用新案日光懷中時計及び鎖メタルの三品を無代添附すと云ふ類なき方法と品質善良安價なるにて高評賓つゝあり因に本紙愛讀者にて希望の方は「ハガキ」に男女年頃を記し同店へ申込めば柄合を見計ひ親切に荷造の上代金引換小包送料不要にて送附し萬一現品が本文に違ある時は無割引他品交換又は返金に應ずる由讀者は安心して注文するを得べし

流經新藥レスノリ・

月經　閉止經過四五ケ月迄ノ内ニ應用ノ目的ヲ確實ナル作用ノ流經

其他藥價一瓶一圓　送費十二錢　●越ス切手代用一割增　海外廿錢　說明書無代進呈

大阪北區曾根崎上一丁目三六地　發行所　常盤藥院　振替大阪三〇〇番

なほ治ツタリ！　多年困つた眼病も　なほ點眼して立派に治ツタリ！　大學目藥

食料品

よい品を安く賣る店

京城旭町　川西商店　卸部　小賣部

電話長一三六七番　振替京城一番

M　EP　名譽大賞牌受領　ゴエマリ

大阪唐物町四丁目田坂商店

購買　燕麥

詳細ハ五月十日以降ノ朝鮮官報ニアリ

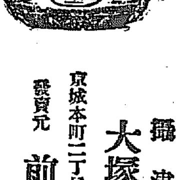
成興陸軍倉庫

吹出物にきびはたけ

●色黒き方は●

切手三錢お送あれ洋行中苦心發見良液說明書送る

東京府玉川新町　芳香園



攝津灘　大塚釀造所吟製

發賣元　京城本町二丁目　前田酒店

電話一三七番　振替口座四二五

かつけよ糠精

全國有名藥店にあり

村井弦齋先生命名實驗證明

發賣元　東京中澁谷町尾崎兄弟商會

證明書

實驗上尾崎氏糠精の脚氣病に偉効ある事を證明す

陸軍一等軍醫正　ドクトル　都築甚之助

病者は總て！　原因の何れを問はず　生存機能に必要なる！　燐鐵劑の体内に欠乏を來す者なり

「其燐と鐵分を」理想的に補ふもの最新發見

體力保全　補血強壯　フェロール　あるのみ

然もフェロールは美味芳香婦人に尤も適當

本舖　大阪道修町　小西久兵衛

△代理店　京城南大門通　新井藥房　京城太平通　キムラ藥舖　釜山辨天町　大黑藥舖　木浦　木下藥舖　元山港　石田濟生堂　安東縣市場　井上藥舖

內科　胃腸病　診察夜九時迄

京城本町一丁目　石川醫院　電話專用二七二九番

▲開業御披露▼

私事久しく貞洞にてソンタクホテルを經營致居候處際は從來からぬ御引立を蒙り誠に難有奉謝候不幸にして一朝故國に事有り昨年八月江湖の御眷顧に反て一時休業仕候處來る五月八日を左記の處にファミリーホテルと名を改め從前の通開業致候間何卒舊御眷顧の程只管御願申上候御料理は純佛國の粹を御賞翫下され候御客樣は既に御承知の事と存候へ共今回更に一層勉強仕り多人數樣の御宴會は勿論宿泊其他の御客樣にも必ず御滿足下さる樣精々相働き申候間何卒御引立の程偏に願上奉候

京城南大門通三丁目（泉商會隣）電話二三八番

ファミリーホテル　植木ユキ

梅毒淋病外科　皮膚病眼科　入院

龍山元町二丁目　十字病院

院主東京醫科大學專攻　望月憲麿　電話三二四番

錢を窃取したるが翌朝に至り朴基洙・節次郎とは眞赤の僞りにて實は某城一枚の四點を窃取し直ちに同地櫻町る下方に達し折返して公園廣場に至

宮本武藏

第三十三回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

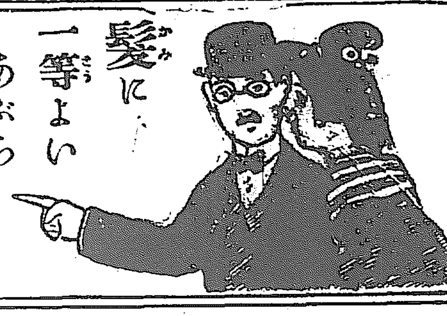
大和の柾木坂を發足して宮本先生奈良の寶藏院へ尋ねて參りました。この寶藏院の住僧覺禪坊胤榮といふ人は槍を執つては天下無双の聞ねある人物、餘り名譽の聞ねある所から慢心をして表看板へ自身筆を執つて、「寶藏院流槍術指南天上天下唯我獨尊覺禪坊胤榮」と認ためて出した、全世界唯一人の名人は俺だと納まつて居ると或日玄關へ ○「頼む 門「ドーレ」と門人が出て見ると身長六尺有餘色は異黒にして眼は明星の如く、髮の毛は赤く縮れ、胴の針の如く、筋骨逞ましき人物、大小を横たへ草鞋穿きで、「胤榮は居るか 門「ハイ師匠は居りますが何方から御在で 侍「拙者は天下の浪人だ、胤榮に斯様申せ、天上天下唯我獨尊などゝいふ看板を出す傍若無人の擧動、沙汰の限りの馬鹿坊主、一本手合せに及んで懲しめ呉れんと存じて罷り出でた胤榮に早々對手をいたせと申せ 門「ハア少々お待下さい、大變に熱の強い侍が來た、家の先生が天狗だと思つたら又上手を越した天狗様が來た……先生 胤「何だ 門「恐ろしい怖い顔をした侍が參りまして傍若無人の看板を出して不屆千萬一本手合をして懲らしてやるから胤榮に出て對手をしろと頭から食ひ付きさうな權幕でございます」胤榮カラ〳〵と打笑つて、胤「世の中には馬鹿が絶ねんな、我が技倆を知らず、望んで痛い思ひをしようといふ可愛想な男があるものだ、宜しく道場へ通せ、二度と心得違ひを致さんやう小酷く打撲して呉れる」家の先生も中々熱が強い、門人が出て來て 門「エ、どうぞお通り下さい」と道場へ案内する。所へ出て來た胤榮 胤「エ、お尋ねに預かつた胤榮は拙僧だ、望みに任せてお對手いたす。併し最初一兩名門人を差出すに依つて其とお立合なさるやう、其後拙僧お對手いたす 侍「イヤ拙者は門人共を對手にする考へはない其方と立合ふ心底で參つた早々支度をして出ろ 胤「イヤ道場の掟として是非一兩人立合はんければ可かん 侍「掟とあれば是非に及ばん一人は面倒だに依つて二人でも三人でも固まつて出ろ、一纏めにして突倒して呉れる、大變な勢ひ。門人も驚いたが其中腕の利く門人が兩人其へ立出で ○「イザ拙者共がお對手いたす、侍「宜し、サア來い」と擔いで來た槍をリウ〳〵と引扱いて道場の眞中に突立上る。覺禪坊の門人左右へ立別れ、ヤッといつて突懸る、ガラ〳〵ガラと三四合槍を合せると見る間に兩名の槍を宙に刎上げ、手許へ飛込んで左右へ突倒し、槍を取直して、侍「サア坊主出ろ」覺禪坊心中少しく驚いたが 胤「宜し、望みに任せて對手いたす」と其へ立出でたが其時分は鎌槍はない素槍ばかり 侍「覺禪坊に申し聞せる、表へ出した天上天下唯我獨尊といふ高慢なる所の看板、此方が打勝つに於ては引外して擔いで往から左様心得ろ 胤「小癪なる一言何程の事やあるべき」と胤榮槍を取直し、ピタリと中段に構へ位取りをする中に、大喝一聲件の侍、突嗟け來つた手槍、ガッキと受止め、ガラ〳〵ガラと槍搦みをいたして居る中に侍は手許へ飛込で來て胤榮の持つたる槍を一つ摑んで宙に刎上げ、アッといふ間にドーンと一突き突いた、ウーンと胤榮バターリ後ろへ倒れる途端に件の男はサッサと槍を引擔いで表へ飛出してしまふ、門人は大いに驚いて側へ飛んで來て見ると覺禪坊胤榮、泡を吹いて打倒れて居ります ○「サア大變だ今の奴は一體何だらう、恐ろしい荒ッポい槍術もあつたもんだ、また先生も早く負け過ぎたぢやアないか △「何しろ早く水を持つて來なければ可けない、何か藥を飲ませやう ○「まて〳〵拙者が活を一つ入れる、能く見て置なさい △「貴公活を心得て居るかい ○「能くは知らん △「危ない活だな ○「怎ういふ時に覺ねて置かなければ不都合だ貴公押へて居て呉れ給へ、確か此邊だと思ふが △「オイ〳〵其は臍だぜ、臍へ活を入れる奴があるかい ○「最少し上かな、此邊にしよう」大變な活があつたもの。

入院随意(診療夜九時迄)
泌尿器病 腎臓病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病
専門
永楽町二丁目 金光教會隣り
安部醫院
電話一四九一番

五月十一日九星
舊四月十日 戊申
本命三碧 東 平 先勝

△三碧 ふさぎ心配りのする事有る日注意 新小見合 坤の方は吉 嘯師東△四緑 日柄居旅行入學名弘求職 出漁婚姻 會臨等 其吉△五黄 縮ぐるわせの事有る日新事手控 荷事は吉買物に用心せらるべし△六白 水かけ論の事有る日新事手控荷事は吉 無益の爭を謹まるべし△七赤 折合のつかぬ事有る日新事 手控荷事は吉女難失物に用心の事△八白 底澄地のわき事有る日新事手控荷事は吉 保證媒介等を禁ず△九紫 歸臨を得る日轉居開業入學 名弘金談求職請婚姻等 萬吉△一白 勝利の日轉居 行商入學金談求職 出漁婚姻船乘を開く等萬吉△二黒 大間にして散財を圖さんとす注意 新事手控荷事婚姻は助なし

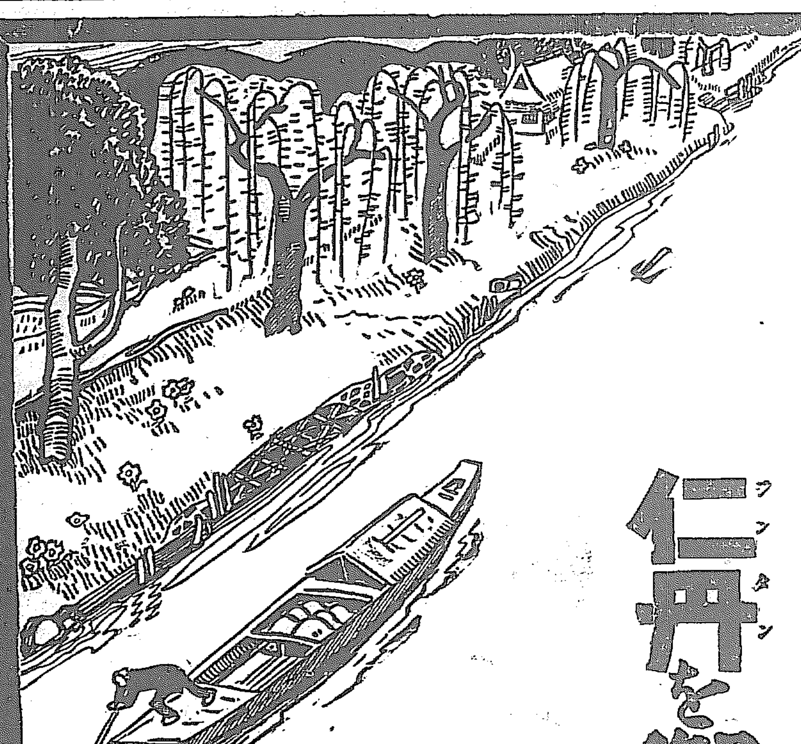
是迄如何なる藥でも根治せざりし
わきが 器械療法
腋臭の病理を根本的に研究し原因療法を苦心實驗の末今夏始めて發表する腋臭器械療法は素人が自宅で簡單秘密に治癒の幸福を得らるべし世の同病者は最後の手段として速に本器により加療せられよ詳細ハガキで申込次第説明書密送す
東京神田カヂ町 博愛醫院器械部
電話神田七三二

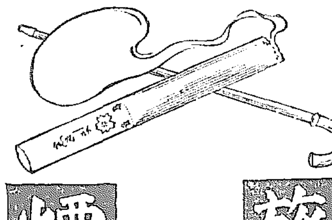


髮に一等よいあぶら
パール
(世界的)煉香油(萬人向)
髮の培養にパール煉香油をおつかひになれば黒くつやを増し房々と軟かに其芳香は又格別です
本舗東京 平尾銑也商店
關西代理店大阪 平尾贊平支店

消化と毒けし

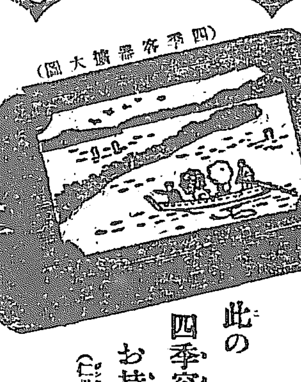
目に青葉、山郭公、初がつを……



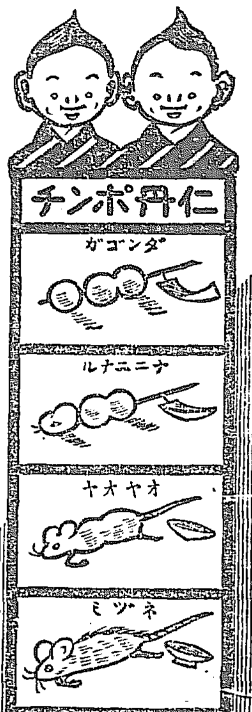


旅行や散歩よ
煙草の代りにも
仁丹を御活用遊ばせ!!
イツモ元氣で面白い

活用
■電車の中 ■遊山の時
■汽船の中 ■執務の時
■汽車の中 ■食事の前
■倦怠の時 ■食事の後



此の四季容器をお持になつて
(仁丹五十錢包に無代進呈)



此の次は何でせう

金言
高山の巓には美木なし、多陽なればなり。大樹の下には美草なし、多陰なればなり(説苑)

京城日報

第三版

十日朝刊(タ刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾錢(郵税共) 三ヶ月前金一圓七拾五錢……
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢(前付拾錢増)……
發行兼編輯人 奧山直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局三四五番 營業局二二六番・二二二番 振替貯金口座京城二〇〇番

米價問題

京城日報

我帝國政府の米價問題に關聯する調査や久しく、其米價調節調査委員會を設けて、調査研究に日を重ぬるも、遂に其要領を得る能はずして、其事に當るもの今猶ほ努力最中なりと云ふ。近報當局者は支那印度及び東京諸地米作に就き調査の歩を進めたりと稱す。併ながら今日の米價問題は即ち農業經濟問題なり。農業經濟問題として、之を研究すべき要點は、寧ろ帝國本土及び帝國領土の農民の狀態にあり。其の本を究めずして却て之を遠きに求むるは、恐くは其方法を誤るの譏を免かれざらむか。

我帝國に於ける米價問題は、歐羅巴及び米國に於て見るところの社會問題的食物問題とは、全く其根據を異にし彼にありては食物及び生活費用の高きを愛へて、之を低廉ならしむるに急なるに對して、我は則ち米價の低廉に過ぐる爲めに農民を苦境に陷らしむるを愛ふるといふにあり。然れども穀物にして餘りに高きは、則ち商人職工勞働者下層人民の苦む所なり。乃ち其調査研究の目的とするところは、社會問題と相抵觸するところなき能はず。是等其の調査研究の捗々しからざる所以なり。

夫れ農業經濟上より云はゞ、米價は高きを要す。一般社會問題より云はゞ米價は高からざるを要す。是れ農業者と商業者との、常に相衝突する所以なりと雖も、今日の我日本の如く、米價低きに過ぎて、農民困難に堪へず、商工業者は一度は其食物の低廉なるを喜びたれども、幾くもなくして農民の困難、農業地方の不景氣は、則ち都市商工業地の不景氣の大原因たることを覺るに及びては、此間亦自ら相一貫するところの理數あることを見出さゞるべからず。調査研究の要は則ち此共通一貫の理數を發見するにあるや論なきなり。

我農業經濟の困難なる最大原因は其農産物が生産者より賣出す時には餘りに低廉にして、其消費者の手に達するときには、餘りに高價なるにあり。農民は則ち安き生産者なると同時に、高き消費者たるの實あり。是れ其の困難甚しき所以にして、此不調和の由て來るところを尋ぬるに第一に農業金融機關の不備、第二に運輸交通機關の不備、第三に産物保管機關の不備なることは則ち其の大原因なり。我本土朝鮮及び臺灣を通じて、此三不備の存する所を究め、之れに對して救護の策を求むるあらば、米價は其生産者より賣出すの時に於いて、幾分の高きを示すべく、其の消費者に達するの時に於いて幾分の低きを示すべきなり。斯くして農業經濟と商工業經濟との調和を保ち、及び兩者の不景氣を救治するを得べきなり。此根本要件を忘れて調査研究を力むるも、遂に寸毫の補益する所あるべからず。是れ吾人が數次其要を擧げて、當事者の注意を促がす所以なり。

製鐵問題(二)

一、戰亂と需給

▽日本市場の狂瀾

外國に於ける鐵市場は前記の如し、而して更に日本内地の狀況を見るに、戰局の發展と共に鐵物の需要は却て旺盛となり、造船業鑛山業其他各種事業の擴張、或は新設が盛に行はれ、尚ほ其上に鐵道院其他時局の影響を受くることの割合に大なりし各鐵需要者は競うて内地在庫品の買付を行ひ從來閑却せられたる古鐵類さへも此機會に乘じて驚くべき騰貴を見るに至つた。當時鐵鋼協會の調査せる處に依れば、内地に於ける大正五年中の鋼産出額は三十二萬噸、同銑鐵産額は十萬噸、合計約四十二萬噸を供給し、例年の鋼鐵産出額三十萬噸内外に比し約十二萬噸の增加を見る勘定であるが、各方面に於ける需要激增の結果、國内の全需要額は約百三四十萬噸に上らんとする勢であつて、漸く其一割内外の供給をなし得るに過ぎざる狀況であるから、到底其全部の需給關係を緩和することは思ひも寄らぬ有様であつた。從て鐵物相場は昨年末以來益々上騰して遂に空前の奔騰を告げ天井知らずの狂瀾狀態を演出するに至つた。今日本銀行の調査に係る大正元年以降の鐵物價格指數に見るも如何に狂騰を告げ來りしかの跡を明かに窺ふことが出來る、左に示すは丸鐵、角鐵、平鐵の三種洋鐵の市價を各月に平均したるものである

鐵物價格指數

	元年度	二年度	三年度	四年度	五年度
一月	九二	八九	七五	△九二	△三〇〇
二月	九七	八九	七四	△九九	△二六三
三月	九七	八九	七三	△一一五	—
四月	九八	八五	七三	△一三七	—
五月	九八	八四	七二	△一四〇	—
六月	九一	八一	七一	△一二四	—
七月	八七	七八	六九	△一三〇	—
八月	八四	七七	△九五	△一四〇	—
九月	八六	八〇	△一〇二	△一四七	—
十月	八九	八〇	△一〇一	△一五六	—
十一月	八六	七九	△九〇	△一二一	—
十二月	八四	七七	△九一	△一三四	—
年平均	九一	八二	△八二	△一五四	—

數字の頭に(△)を付したるは戰亂以後の指數にして如何に暴騰せるかを知らむ

猶ほ東洋經濟新報社が最近に調査せる丸鐵(鋼鐵相場の標準物)相場表によるも亦其の奔騰の狀を知ることが出來る、即ち左の如し

丸鐵(五分)相場(十貫目)

期日	價格	指數
大正二年一月下旬	三、二〇〇	一〇〇、〇
同三年七月下旬	二、四〇〇	七五、〇
同　八月下旬	四、二〇〇	一三一、三
同　十月下旬	三、一〇〇	九六、九
同　十二月下旬	三、三〇〇	一〇三、一
同四年二月下旬	三、七〇〇	一一五、六
同　四月下旬	五、六〇〇	一七五、〇
同　六月下旬	四、三〇〇	一三四、四
同　八月下旬	五、〇〇〇	一五六、三
同　十月下旬	五、七〇〇	一七八、一
同　十一月上旬	七、〇〇〇	二一八、八
同　中旬	一一、〇〇〇	三四三、八
同　下旬	一一、〇〇〇	三四三、八
同　十二月上旬	一二、五〇〇	三九〇、六
同　中旬	一三、五〇〇	四二一、九
同　下旬	一三、五〇〇	四二一、九
大正五年一月上旬	一三、〇〇〇	四〇六、三
同　中旬	一一、〇〇〇	三四三、八

▽銑鐵の奔騰

次に銑鐵の市況を見るに、鋼鐵價格が世界的に昂騰した結果、銑鐵のまゝ市場に販賣するよりは、之に加工して鐵材として販賣するを遙に有利とするに至つたが爲め、各國の銑鐵精錬所は急設準備を以て鐵材の增産を計るもの多く、從て我國の銑鐵市場も頓に其供給を減少するに至つた。彼の漢冶萍鐵、印度銑鐵共に昨年以來著しく其供給量を減縮し、本溪湖銑鐵も亦豫想せられし程多量の生産額を擧ぐるを得ず、加ふるに内地産銑鐵も僅に内地各製鐵所の需要激增によりて釜石産並に輪西産共に日本製鋼所其他一般市場への供給量を減少するの已むなきに至り、之が爲め銑鐵市場は戰前に比し約倍額の高値を見、目先猶ほ頗る強硬なる氣勢を示して居る今開戰前開戰後に於ける内外銑鐵相場を比較して見るに内地銑(釜石特産)一噸が戰前には三十四五圓であつたのが、開戰後の大正四年九月十五日には三十八圓となり同年十二月十五日には五十五圓、而して本年一月二十三日には七十圓に奔騰し、又舶來銑(クリーブランド)一噸が戰前には四十二三圓から五六圓の處であつたのが大正四年の九月十五日には四十九圓、同年十二月十五日には八十五圓、更に本年一月二十三日には九十四圓に進んで居る

ヴ要塞陷落如何

昨今の外電は獨逸のヴエルダン要塞攻擊が未々しき成功なき爲めにヴ要塞戰は既に終末に近けりなど報じ來るを信じて樂觀するものあれども吾輩は未だ獨逸の終に不成功に終るべきを信ずることは出來ぬ假りに陷落せざるものとしても此の要塞戰が終末に近けりなど云ふ理屈はない筈だ漸く攻擊の初期に入つたものである日露の役日本軍隊は全然孤立した旅順を攻擊して之れを陷落せしむるに約十一箇月を費した又ヴ要塞から見れば殆んど云ふに足らぬ靑島を攻擊するにさへ十倍の兵を以て四箇月を要したのである然るに獨逸軍のヴ要塞を攻擊し始めたるは去る二月二十一日にしてまだ七十日程しか經つて居らぬ世界無雙の要塞を攻擊するには其の準備にさへ三十日や四十日を要する筈である然かも獨逸軍は非常な迅速を以て攻擊準備を終り此の僅少な時日に於て既に佛軍の第一防禦線を突破したのみならず佛軍の死守せる數壘を攻略し其の有名なる死人丘をも奪取したのは寧ろ獨逸軍の成功と云はねばならぬ又獨逸軍は要塞の攻擊を開始して以來既に二十萬の犧牲を拂ひたりと云ふも佛軍側に於ても十四五萬の犧牲を出し居れば之れが爲めに獨逸軍は決して要塞攻擊を中止するものでない其はヴ要塞の運命如何は獨逸の運命を決するからである吾輩は固より聯合軍の勝利を希望して居るけれども戰爭は獨逸軍に有利なるを如何せんやである遠慮なく云へば英國軍隊等は餘り香しくない若し佛國をして勇敢ならしめば獨逸軍が其面前に要塞攻擊の準備をなしつゝあるをオメ〳〵何で見物して居らう之れが抑も間違ひである獨逸軍が既に其の準備を整へた以上は戰爭の勝敗は七分三分と思はねばならぬ故に佛軍は獨逸軍の未だ攻擊準備出來ざる前に敵を擊退するに努む可きに左はせずして充分に攻擊準備をなさしめるのは漸次不利の地に陷るのであるされば更に數箇月を經るにあらざれば到底ヴ要塞の運命をトすることは出來ぬヴ要塞こそは其實に天下分目の天王山であるから獨逸軍が更に多大の犧牲を顧みず攻擊したならば佛國が果して之れを擊退し得るかどうかと云ふことを考ふる時は遺憾ながらまた樂觀する事は出來ぬ(某陸軍將校談)

停雲會詩集

新年有感　竹圃　韓夷敦

物換星移又一年。開春消息日欣然。梅蕊力纏經雪。園竹生心更帶煙。探遊奔市外。故人依舊賀樽前。家國滿福逢吉明月上東天。

之亭曰　好個新年詩。

[illegible]　同人

[illegible]

之亭曰　作意玲瓏。

聽鶯　押韻　[illegible]

[illegible]

之亭曰　[illegible]

春雨　同人

[illegible]

之亭曰　[illegible]

日報俳壇　雄子郎選

白酒

豆雛に我好く連翹活けにけり　合歡女

白酒に叔母來し襟や襖外　潮外星

草餅

草餅や兒の禮壇をかけ誇る　華城

日曜は又來る子等よ草の餅　露風

鹽

鹽寒む葉布の島見ゆ窓ありぬ　靑扇

鹽寒む乙嫌ふ夜半の風雨かな　雲帝

紙鳶

潮風や海鷗の如く鳴れる凧　雲帝

凧の陣疊みて野風靜まれり　北星

畑打

妻が打つ畑鐵と二つ肩に去る　浦南

畑打の城内の市氣を厭ひけり　靑扇

田を打つて田を打て買ひ此田哉　昌山

山燒

山燒を見つゝも犇き任地去る　靑扇

暮るゝ蘆立てて野火の迫りけり　浦子

接木

接穗採りて借りて其主に暮にけり　田打夫

馬の齒を父に托して接木かな　求靑

種蒔

種蒔や地にぼてり雨意を呼ぶ　靑眼子

種蒔や風に吹散る袋紙　豆村

物種や袋の赤縫けばくくし　盧中子

種蒔や嫁ぎ行く姉を惜みけり　合歡女

大阪三品

[illegible]

大阪期米特電(九日)

[illegible]

仁川米豆取引所

▲九日後場　[illegible]

▲交場逆騰す　[illegible]

▲人氣動搖す　[illegible]

九日の七月限 [illegible]

特價六拾四錢(二割引)　期間は六月十五日迄同期間後は必ず定價に復す
新案特許三六二九八號 タイヨー萬年毛筆 (定價八十錢)
本品は從來有り觸れたるものと異り頗る精巧無比、構造堅牢にして永く使用に耐へ穗首は取換自在なれば質用に適し且つ經濟なり尚普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁(開明墨)を入るれば端書三百枚迄は書き得るを以て携帶用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も欠く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ
▲替穗壹個金八錢　▲スクリップ壹個金五錢
△地方取次販賣又は外交員希望の方は當代理部へ御一報あれ
團體若しくは合同にて一打以上御求の方には特に割引の御需に應ず
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

電氣叢書
工學士 扇木眞吉先生校閲 建築書院編輯局編纂
新刊 電氣工業力學
四六版布製全一冊 紙數二百二十二頁 挿圖七十三個
正價金壹圓五十錢 內地書留送料十二錢・滿韓臺樺送料十七錢
目次大要 ○第一章=單位 ○第二章=速度 ○第三章=力 ○第四章=廻轉と重力 ○第五章=摩擦 ○第六章=簡單なる機械 ○第七章=固體の性質 ○第八章=液體の運動 ○第九章=噴出する水 ○第十章=水壓 ○第十一章=電線の弛度 ○第十二章=孔より噴出する水 ○第十三章=水量測定
電氣工學に應用の力學を九十五項目に分ち平易詳述圖解せる斯界の良著也
◎好評嘖々たる電氣學良書十五種◎
電氣叢書 電燈　建築書院
電氣叢書 電話　若山
電氣叢書 電池　鷲
電氣工學ポケット・ブック　若山・高津
電氣及磁氣　若山
電氣學ABC　同上
理論應用 通俗電氣學　同上
應用 電氣工學　佐伯
電氣學手ほどき　若山・日田
實用 電氣學問答　電氣學研究會
電氣機械及器具圖解　建築書院
實用 電氣工師便覽　石田
英和對譯 電氣用語集　若山・日田
架空電線路建築一斑　同上
電氣鍍金法　高橋
發行所 東京市京橋區南槇町十三番地 振替口座(東京九四一八) (電話京橋四七七) 工業書肆 建築書院

宇治茶直接販賣
新茶走り(品揃は本月末)
お待兼ねの新茶ポツ〳〵出來玉露製壹圓五十錢、貳圓、煎茶製壹圓、壹圓五十錢
右例年の通り賣出し仕候
御茶銘錄定價表(二百目ニ付)
◎玉露製 ◎煎茶製 ◎折物製
製茶問屋 井上六平
製造本店 山城宇治乙訓久世 營業所 京都七條東洞院角
(振替)東京六二九三 大阪七一一四

法人登記公告
南陽郡方時八方金融組合 滿了同年五月二十日 右大正五年四月貳拾五日仕期
京城地方法院水原支廳

複寫簿 カーボンペーパー 複寫紙 製造卸 孝文舍印刷所 大阪東區南農人町 電話東三八九〇番 振替大阪二七六六番

鰒卸販賣! 並に川魚一切 滿鮮一手販賣元 朝鮮釜山府外下端 稲原德二商店

上 ヤマサ醬油 開業二百七十年

天正五年の新事業! 龍山漢江通り十一番地 五龍鐵工所 所主 大高虎吉

◎外人の總統退職觀

在北京一般の外人は袁總統の退職如何に就き判斷に苦しみ居れるが容易に退職せざるべしと想像する者多し（北京特電）

◎黄興身邊危ふし

無線電信にて急報―輕舸にて行衛不明

革命黨の領袖黄興氏は機愈々熟し去月二十二日桑港發の東洋汽船春洋丸に搭乘して來朝の途に上りたるが同船は九日早朝相模灘を航行中某所より黄興の身邊危しとの無線電信に接したるが七時半浦賀沖に達せる時同所には既に一隻のランチ出迎へて春洋丸を停船せしめ黄興及び李參謀の二人を秘密にランチに移乘せしめ其儘行方不明となれり之が爲め春洋丸は豫定に後るゝ事一時間にして横濱に入港せり一行中の第二夫人及び三才の愛息二名は横濱に上陸せり右に就き同乘の一員は語つて曰く黄興は去月二十二日乘船し毎日讀書圍碁に耽り居りしと（東京特電）

◎山東暴動と我抗議

帝國政府は山東省の各地にて支那官兵が我守備隊の軍用設備に加へたる暴行に關し去る七日日置公使をして北京政府に抗議を提出せしめたり（東京特電）

◎陸徵祥代理の抗議

六日曹汝霖は陸徵祥代理として日本公使館に來り山東省に於て日支間に發生せる新事件に對し抗議を提出したるが上海方面の事件に關しては何等言及する所なかりき（北京特電）

◎注目すべき獨逸銀行團

獨逸銀行團代表者コルデスト氏は最近支那政府側との往復頻繁を極め居れるが右は財力を救助して或る利權を得んとしつゝある爲めならんと觀測さる（北京特電）

◎三〇四高地砲撃烈し

巴里來電＝公報に曰く六日獨軍は猛烈なる準備的砲撃を加へたる後デホンの南方に於ける佛軍塹壕に對し攻撃を試みたるも敵は我が鐵條網に到着する以前に於て我が砲火の爲め阻止されたり三〇四高地の方面に於ては激烈なる砲撃應酬せられホードロモン、セオーモン地方に於ける有力なる敵の偵察隊は驅逐せられたり我が繫留氣球は烈風の爲め綱を切斷せられ一部分は獨軍の戰線に下降し乘員の大部分は落下傘を翳して我が戰線に下降せり（倫敦電報）

◎ペ將軍陞進と後任

ヴェルダン要塞佛軍守備隊司令官ペタン將軍は中央軍總司令官に陞進せり而して其の司令權の及ぶ範圍はソアソンよりヴェルダンに至る地域をも含めり尚ネヴィル將軍はペタン將軍の後を襲てヴェルダンのみの守備軍を指揮する事となれり（倫敦電報）

◎墨國近況

在留邦人敬慕さる

五日横濱著の春洋丸にて歸朝せる墨國公使館一等書記官岩崎三雄氏は墨國の近況に就き語つて曰く「墨國は歷代の政府が不換紙幣を濫發したる爲め紙幣暴落し一弗の紙幣僅かに米貨二仙に過ぎずカランザの政府が各國政府の承認を得てより一時引き締りたるも持續せず爲めに物價暴騰し一足の靴百弗一著の洋服五百弗乃至千弗に騰貴せり政府は之が救濟に焦慮しつゝあり又在墨邦人は格別の困難も感せず孰れの方面よりも歡待され居れり之れ墨國人は一般に日本人種なりと信ぜると且つ日本人の勇武を敬慕し居れるとの二理由に依る云々（東京特電）

◎新飛行機墜つ

澤田中尉輕傷を負ふ

六日午前八時所澤飛行場にては澤田中尉……ば一旦著陸せんとせしに再び發動機の力衝に復したれば地を離れんとしたるに此際又もや引力思はしからず……が傷の程度到つて輕微なり、機體は上翼の左方折れ下翼は左右推進機と共に折れたる故茲四五日間の修理に……

◎赤十字觀光團

政務總監の晩餐會に臨む

赤十字社朝鮮本部主催觀光團一行三十五名は八日午後六時上野精養軒に於ける山縣政務總監の晩餐會に臨めり總監は病の爲め出席せず大城戸書記官代つて歡迎の辭を述べ總監の意を傳へ團長古城梅溪氏は謝辭に兼ねて一行の觀光中に於ける感想を紹介し此の旅行が一行中の新人に頗る快感と利益とを與へたる旨を述べたるが當日は藤田軍醫總監荻田總務課長遠藤秘書官等も列席したり九日一行は國民新聞社を訪ひ茶菓の饗應を受け社務を視察せり（東京特電）

◎部隊大阪通過

朝鮮師團步兵第三十七旅團司令部以下百六十九名は九日朝大阪發淸津に向へり（大阪特電）

◎滿洲窯業發展

大連の中央試驗所にては諸種の化學的試驗研究と共に滿洲の粘土を以て支那向の磁器及び陶器を製作しつゝあるが近來職工の技能熟達し在來支那製のものに優るとも劣らざる陶磁器を製出し且南支方面よりの支那藥品餘り輸入せられざる爲め滿洲各地支那人間に試驗所製造の陶磁器を使用するもの頓に多きを加へ福壽碗と稱する支那向茶碗の如き滿洲內のみにて一箇年約四五十萬圓の需要あるに對し現に其の大部分を試驗所より供給する有樣となり其他汽車內に使用する茶器、湯飲、支那人用の汁碗を初め珈琲碗、電線用碍子なども製造し日本人間にも其の需要者增大し來れる爲め自然その製造能率を高むる事となり猶ほ滿洲以外なる山東又は上海方面にも漸々輸出をなす迄に進步し來れり此外耐火煉瓦及び硝子の製造をも爲し居り是等の需要も次第に增進し來れるより目下窯業部は頗る繁忙を極め居れり（大連）

◎增師と羅南

北鮮方面も四月に入つて以來淸會線鐵道工事並に諸工事漸く殷賑を極め物貨の集散亦頻繁なるも恰も農繁期に入り牛車の不足を告げ加ふるに陸軍諸兵の交代に附隨し荷物の運搬に要する毫車牛馬の幾分徵發されたる爲め大麥燕麥等馬糧の出廻り尠少なりし然も一面羅南方面に於ける常設師團に關聯し愈々本年度に於ける陸軍諸官舍の建築工事も二十三萬圓にて大倉組に落札し四月廿一日淸津入港の便船にて羅南に著し即時事務所の建築及び工事に要する材料の買入れを開始したる爲め人氣引立ち四月末より五月上旬に亙り諸商品の賣行き惡しからず市況活潑金融稍多忙の裡に經過しつゝあるが現に四月中鮮銀羅南出張所銀行券發行高は十四萬五千圓なりしが其の回收は五萬五千圓に過ぎず結局九萬圓の增發となり居れりと

◎三井と重石精錬

三井物產にては先年小笠原鐵氏より金剛山溫泉附近の重石鑛區を買收し其の採鑛を小規模に行ふと共に近一個の採鑛を續行しつゝあるが結局其の鑛量を概算して新式の精煉所を設置する計畫なりと

◎露國白海ア市禁輸

露西亞政府にては五月一日より白海アルハンゲリスク市に於て軍需品以外の輸入を禁止したり依つて若し軍需品輸入の場合にはペトログラードトルゾツスカヤ八番地農商務省商學局宛屆出の上政府の許可を受くべし然る上は露國海軍省と農商務省と協議の上請願人に可否の通達を爲すべしと這回東京大使館より當地總領事館に通牒ありたり

◎製糸場生糸輸出

京城憲兵隊授產場製糸場の製造にかゝる生糸は第四回の輸出品として約五百斤を客月下旬横濱に搬出し此程同地に到著目下横濱保稅倉庫に保留中なるが近來南支那地方の養蠶中絕したると戰亂の影響とにより生糸相場漸次沸騰しつゝある際なれば第三回の際より又一段の高値にて取引せらるべしと

◎乳牛六百餘頭

大正四年末現計に於ける鮮內乳用牛は總數六百二十九頭にして其の內外國種八十三頭、雜種三百九十七頭、朝鮮牛百四十九頭なるが外國種中のはホルスタイン、エーアシャ最も多數を占め居れり、而して此總頭數を前年に比較すれば四十餘頭を減少せるが、這は京城に於ける牛乳業者が昨年中二三廢業せしに由るものなりと

◎鰊界は不況

露領沿海州に於ける鰊の漁業は春來非常の豐漁なりし爲め一時二十圓臺を突破せる相場も漸次暴落に傾き昨今北鮮地方に於て十二三圓を唱へつゝあり而して咸鏡北道沿岸の鰤も亦相當漁獲ありしも內地相場九圓を上下し居る爲め淸津方面の貿易商も目下其の買付を手控への姿なりと

◎商議役員會決議

京城商業會議所は八日午後二時半より役員會を開會し大正四年度決算報告、課金滯納者處分の件等に就て協議を遂げ決算は異議なく之を承認し總會に報告することゝし課金滯納者處分の件は處分斷行の旨を發表後續々納入者あり最早二三者を除くの外は全部納入したれば尙ほ暫時猶豫を與へ納入者の德義心に訴ふることゝなり四時半散會せり

午後七時半より同所給與規程編成に關する調査委員會を開會の筈▲佛教青年會例會 仁川佛教青年會にては……專學校長の「貨幣」に關する講話及餘興有る由▲筑前琵琶大會 仁川同好者の發起により十日午後七時……

◎京城商議定期總會

京城商業會議所は來る十七日午後二時より定期總會を開き大正四年度決算の報告を爲すことゝなりたり

◎京城府苗圃移轉

京城府にては豫て府の模範林造營及び御大禮記念造林用及び學校林用として分配する目的にて東大門外に苗圃を經營し來りたるが今回漢陽公園と和樂園との中間に之を移轉して多少規模を改め主として松クヌギ、クリ等を培養し苗圃の狀况は一般公衆にも縱覽を許すことになりたり

◎鐵道委員出發

東淸鐵道委員ルグヴィッチ、グーシトル兩氏及び隨員、帝國鐵道院委員木下運輸局長、三土旅客課長、高木參事及び隨員並に三本鐵道局營業課長は九日午後九時四十分發列車にて安東縣へ向け出發せり

◎立花中將歸任

立花第十九師團長は步兵第七十七聯隊に聯隊旗授與の爲め平壤に出張中の處九日午後七時十九分龍山著列車にて歸任せり

◎秋山參事官歸任

總督府參事官秋山雅之介氏は東上中の處九日午後九時南大門著列車にて歸任せるが停車場には總督府及び關係官署官吏其の他多數の出迎ありたり

人事消息

▲立花第十九師團長 九日午後七時十九分龍山著列車にて歸任
▲岡部晋城本部長 十日夜九時入京の豫定
▲聯絡會議員一行 入京中の處九日午後九時四十分南大門發安東縣へ
▲秋山參事官 東上中の處九日夜九時南大門著列車にて歸任
▲道府救護班一行 入京中の處十日午前八時三十分發列車にて內地へ向ふ筈
▲鈴木萬次郎氏（愛國生命社長） 九日夜入京天眞樓へ
▲コリツグ夫人（米人） 九日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

近著の紐育タイムスに英獨が聯合しても米國の富力には及ばぬと云つて居る▲千九百十二年の調査に依ると米國の富は千八百七十七億四千萬弗、英國八百五十億弗、加奈陀七十億弗、獨逸は八百億弗だ▲處が米國の富力は年々非常の勢ひで增加して行くとある▲之れで見ると米國の現在富力は恐らく我四千億圓を超過して居よう何と云つても米國は世界中一番の金持ちだ▲之れ丈けは羨望に堪へぬ▲獨逸皇室には王子達の遊戲に歐洲戰爭ゴッコと云ふがある▲其れは全歐の地圖の上に獨逸と墺洪國とが同盟して他の列國と戰ふ遊びで▲白耳義やルクセンブルクなどの中立國の上は自由に踏みにじつて好い▲其れ丈け勝負が決した時には償金を拂はなければならぬ▲小さい內から斯う云ふ無茶苦茶な戰爭を敎へてあるから獨軍が今度中立地を平氣で蹂躪するのは當り前だ▲何うしても獨逸には最う頭が上らぬ迄ウンと喰はして置かねば此の王子達が大きくなつたら又たやるのだらう▲今の間に滅茶〳〵に擲りつけるに限る▲お札博士のスタイン君は米國に歸ると匆々極東問題に就て種々意見を發表して居る▲大體は總督政治を公平だが中には却々皮肉や見當違ひな觀察も多い▲「新領土を獲得し之を支配するは久しい日本の國是であつた」とか「今や日本人は其戰後には日露のみが強大國となり提携に依て戰後世界に覇を稱し得べしと考へて居る」「日米戰爭は不可能な事ではない日本は米國の國防充實を疑惑の眼を以て見て居る或意味に於て日本に備へるものと思つて居る」▲など何喰はぬ顏でお札を集めたり古物を引つ張り廻して居る間にこんな事を觀察して居る▲抜々陋へは措けぬ男だ

◎總督府公文添付

本日總督府公文附錄添付

◎策電號奪取失敗

革命黨員五日未明吳淞に碇泊せる砲艦策電號を奪取せんと試み失敗に歸したり其の中日本人十六名あり俘虜となりしが六日支那官憲より日本總領事館に引渡されたり右十六名は九日朝郵船近江丸にて門司に到著したるが同志中長崎に十五名神戶に三十名上陸の筈なり（門司特電）

◎王濟輝徒黨解散

鴨綠江上流にて一時猛威を振ひし東邊革命黨の領袖王濟輝の一隊は其後官兵に驅逐され平安北道昌城鎭附近に遁れ居たるが我が官憲の命に依り解散する事となり七日夕刻多きは一千圓少なきは二三十圓宛の金を分配して解散せるが王は八日安東に入れりとの噂あり支那官憲は極力搜索中なり（安東縣特電）

……開治療を受けんと昌城郡新倉面豊洞居住の醫生李俊基（五一）を自宅に招致したる際同醫生は診察の上コカイ……隊の手に檢擧されたり

◎革黨の名で

……山口縣……れ取調の爲留置されたるが當人の言ふ稻仲玉は目下靑島に滯在し居る由にて同隊より靑島憲兵分隊に移牒し……

天氣 追報

愛媛縣人會

左記の通り開催仕り候間奮て御出席被下度候

日時 五月十二日午後六時
場所 南山町 千代本
會費 三圓（當日御持參の事）

尙御出席の旨は十一日正午迄に旭町二丁目大久保雅彥宛御通知被下度候

發起人 岡正、大久保雅彥、矢野義次郎

愛媛縣人各位

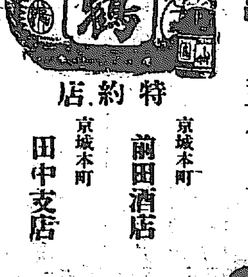
タングステン

用手廻搗鑛機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一褒狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得

京城南大門通五 電話一〇四番 中根商會

海員募集

最新の航海に關する學術を教授し……養成す卒業者は各汽船會社へ直に……せしむ四ケ月卒業會費貳圓四……進呈 東京芝愛宕町帝國海員……



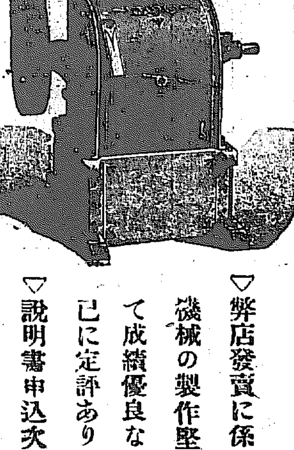
天下の銘釀

本火賣出し（五月より）

特約店 京城本町 前田酒店
京城本町 田中支店

釀造元 兵庫縣灘御影町 嘉納合名會社

登録商標

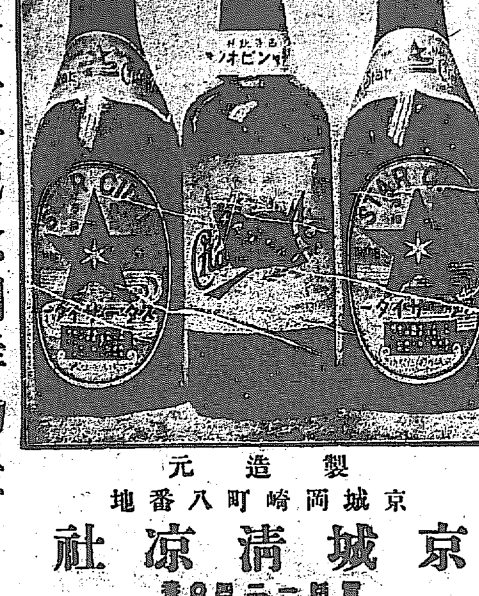


帝國に於ける磨擦精米機之鼻祖

米國製最新式 **エンゲルバルク精米機械**

▽弊店發賣に係る各種機械の製作堅牢にして成績優良なるは世已に定評あり
▽說明書申込次第郵呈

東洋總代理店（範圍日本支那及露西亞を含む）
京城南大門通五丁目十九番地 曾我商店京城出張所 電話二六八番



スターサイダー

大正博覽會褒狀受領
始政五年記念朝鮮物產共進會銀牌受領

製造元 京城岡崎町八番地 京城淸涼社

[illegible]んと先づ五六十米突の高さに昇騰せ[illegible]中尉は眼鏡の破片にて眉間を傷つけし特殊發動機の牽引力微弱となりしか左腕に打撲傷を負ひ醫務室に赴ける

閑院宮殿下の奉答（東京日比谷公園赤十字社總會に於て）

●遣露救護班の入京（二）

救護班の眞價と好評
多忙を極めしはワルソーの激戰
他の病院よりも優秀、上野博士談

私共が與國に對する好誼と赤十字社の趣旨とに由つて戰時救護班として露都ペトログラードに著いたのは恰度一昨年の十一月でした病院はネフスキープロスペクト街なる貴族倶樂部の建物を用ひる事になりましたネフスキープロスペクト街は單に

＝ペトログラード＝

第一の繁華な市街と云ふばかりではなく歐洲各國の都市の中に於ても又最も華麗なる街衢と稱せられて居る貴族院倶樂部は此の街區の中央に在り石造四階と六階とより成り頗る宏大のものである此の建物の全部は我が救護班の爲めに提供せられた救護に著手したのは十二月の二十日からであつたが恰度

＝ガリシヤ方面の＝

激戰の後であつたので重傷兵は自動車で續々運び込まれて開院した其日の內に百臺の病床は滿員を告げたので更に百臺の寢臺を增加したが之れも忽ちに滿員と云ふ有樣であつた輕傷者は漸次退院して再び戰線に就く者も有り又それほどにならぬ者は地方へ轉地せしめる事になつて居るが後から

＝後から傷病者が＝

運ばれて來るので病院は常に一杯であつた我が救護所は日本赤十字社から醫療機械其他萬端の設備を充分にして呉れた爲めに露國の何れの病院に比して些かも遺憾とする處のものはなかつた後送された、多數の傷病兵は戰時病院や赤十字病院に收容し切れず

＝市中の開業醫の＝

病院にも多く收容せられ手當不充分の爲めに落命する者も隨分多いと云ふ風であるから我救護所の如きは頗る好評を博して居つたそれで迭つて來る負傷者も多くは將校又は重傷兵であつた、ペトログラードは夏季になると炎暑烈しく氣候頗る不順なるを以て昨年五月よりペトログラードに近かき

＝ネバ河畔の別莊＝

地に二箇月間救護所を移轉し七月より再びネフスキープロスペクトの救護所に歸へつた最も多忙を極めたのはワルソー方面の激戰の際で一時は天幕を張つて重傷者五百名を收容した事さへ有つたリガー方面の戰ひの際は非常な重傷兵ばかりを收容したが案外好成績を以て我が

＝救護班の眞價を＝

充分に認めらるゝ樣になつた斯う云ふ風に多忙を極めた爲めに到底我々日本人ばかりでは手が廻り切れないので露國の看護婦三十名及び看護人其他の雜役夫七十名餘を使役して居りました雇入れた看護婦は多く篤志看護婦であるが露國の篤志看護婦は日本の篤志看護婦とは

＝其の趣を異にし＝

何れも有給であつて職業看護婦と聊かも違ひはない給料も月六十留乃至七十留位取つて居る而し篤志看護婦は多くは貴族の令孃であつて給料を全部赤十字社に寄附する者が少くなく篤志看護婦と云ふよりも戰時看護婦と呼ぶ方が適當であつて上は內親王殿下から下は少尉の令孃まで名譽として戰時看護婦に志願する此の

＝看護婦は二箇月＝

間位臨床教育を受るばかりであるが割合に役に立つて居る而し不便な事には露國の婦人は男子の下の方などを看てやる事は絕對にしないし又兵士の方でも貴族の娘達などに尻の方の始末をして貰ふのを嫌ふ處から大小便の始末などは一切看護人に賴まなければならぬ此の看護人をシゼルカと云つて一種の奴隷を見た樣なものである

＝戰線の方の事情＝

は無論分らないがそれでも司令部の方から少しよくなつた患者は地方へ轉地されたり又寢臺の都合など何回となく尋ねに來るから大戰が近寄て來たと云ふ樣な事が分る露都には御承知の通りアイザックだのカザンだのと云ふ大寺院が非常に澤山あるが此等の寺院は如何なる場合にも病院として負傷兵を

＝收容すると云ふ＝

が如き事は絕對に許されない又た數多の劇場、演戲場等の大建築物も臨時救護所に用ひる事は能きない信仰の強い殆ど迷信的の露國人は寺院に傷病者でも收容しようものならばそれこそ憤怒して宗教戰でも起さうと云ふ意氣込みであるまた當は左程でもない劇場や料理屋などまで戰時には非常に賑やかに爲つて殆んど晝夜と云ふ風である軍服を著けた將校や兵士等は女を擁して醉步蹣跚として

＝打通しの大騷ぎ＝

街上に充ち充ちて居る劇場や料理屋は戰亡を慰藉する爲め寺院は戰勝を祈る爲めに多大の繁榮を現はして居る露軍は交代に戰線から歸つて來ては一二箇月間歡樂を盡しては又戰線に出掛けて行くと云ふ樣な遣り方である

◇商議評議員會（仁川）

[illegible]業會議所にては來る十一日[illegible]臨の觀念と國民的自覺」及び經濟[illegible]

●危險なる醫生

[illegible]松西面三西洞金乃河（二八）は腫物の切[illegible]金乃河は即時絕命したる事[illegible]

□朝鮮では稀しい銅山

久原鑛業株式會社 竹內維彥氏談

▽六千尺の銅店嶺を越ゆ
▽わて架空鐵索で運搬

這回久原鑛業會社がコールブランから買收した甲山銅山は內地の銅山に較べると餘り大したものでないが朝鮮では鳥渡珍らしい鑛山です、鑛山は咸北の

◇城津から奧へ

廿七里で從來不便な土地にあつたから誰れも手を附けずに居つたものです、鑛山の買收は多年の懸案でもあり且つ四年以前から久原でも採鑛に努めて居ますので作業は精煉所の完備次第直ちに開始する事が能きます、多分本年の十月頃までには精煉所も出來上りますが併し城津までの運搬は却々困難事だらうと思ひます、何分途中には海拔六千尺の銅店嶺から同じく

◇三千尺の德萬嶺

が續いて居りますので此の間には當分架空鐵索を設けて運搬し他は馬車によつて運搬しようと思ひます、鐵索の工事は來年の暮れにならねば出來上りませぬ、甲山の精煉所では先づ鑛石を製銅とした上更に大分縣の佐賀關に送つて電氣分銅にします、銅の値段も戰爭のお蔭で大暴騰はしましたが昨今のやうに英國にも獨逸にも暴動が起つたり媾和風が吹いたりするとさて戰亂もこれから什麼ものでせうか、次ぎに久原の

◇鎭南浦精煉所

も開業後六箇月にならぬ今日既に銅廿萬斤と金二十貫匁を出しました、無論內地の比ではありませぬがそれでも日本に於ける八九位に居るとは確かです、久原の精煉所では目下金銀、銅鉛等の鑛石を買入れて居りますがこれが爲め從來選鑛や精煉に大資本を投じた鑛業家も專ら採鑛のみに投資し鑛石は之を精煉所に賣るといふとにしたならば茲に採鑛と精煉業との分業が能きて聊か

◇半島鑛業界の

發展に資することが能きようかと思ひます、昨今は未だタングステン鑛も大人氣のやうですがこれも大に盛んならしめたいものです、併し目下の處では簡易なる露頭掘りの鑛山が多いやうで正式に機械をかけて採掘して居る處は尠ないやうです、追々には正式にやらねばならぬ時期が來る事と思ひます元來

◇朝鮮の鑛痒物

に富むで居ることは從來外人などが著目して居るのでも知られますが就中朝鮮は全體の地質が花崗岩に富むで居ますから金銀銅鉛タングステン等は豐富なやうです私の考へでは今日の趨勢で行けば朝鮮の鑛業は今後數年ならずして面目を一變することゝ思ひます、猶ほ目下總督府で努力されつゝある道路の改築が鑛業の發展に正比例することは確かなる事實であると思ひます

●一千圓御下賜
故元田先生の頌德碑建設

故男爵元田永孚先生の頌德碑建設に就き熊本縣人發起となり昨年來寄附金募集中なりしが今回畏き邊より金一千圓を御下賜あらせられたり（東京特電）

●內山大將聖恩に感泣す
經過頗る良好

猩紅熱に罹され赤十字病院に入院せる內山侍從武官長は爾來主治醫野口學士の診察の下に靜養中なるが入院當夜は體溫三十九度を越せるも經過至極良好にて六日正午は三十七度三分に減じ咽喉部の疼痛も全く去りしより附添ひ居れる夫人始め家人等も聊か愁眉を開け居りしに畏き邊より病氣御尋ねとして六日御菓子一折御下賜ありたるより大將は聖恩の難有さに感泣せりと（東京）

●ダイナマイト竊取事件公判

青島の灰泉角よりダイナマイトを竊取し密輸入を圖りたる事件は公判の結果神川仁吉一年、佐々部謙三、上龍助各六箇月の懲役に處せられたるが濱田は行衛不明にて今猶搜索中也（釜山特電）

●機關車に刎ね飛ばさる

京畿道抱川郡靑山面晴城里東方約二丁の京元線鐵橋上を去る一日午前十時半頃通行中折柄疾驅し來りたる機關車に跳ね飛ばされ河中に墜落したるものあり急報に接し抱川分遣所より係員出張檢視せしに肋骨を折り絕命し居り携帶の木札に「楊州郡上道憲洞村嚴正丁己生」と書きありしも屍體の引取人なき爲め同里に假埋葬したり

●發狂して自殺

京畿道楊州郡瓦阜面三峰里北方馬背山上の栃木に五日午前四時頃縊死を遂げ居る男あるを發見したるものあり急報に接し高安憲兵出張所員出張して取調べの結果件の男は三峰里の李明植（六〇）と判明したるが明植は二三年前より多少精神に異狀を呈し前夜附近の酒幕にて大酒を呷り無斷家出して此仕末に及びたるものと知れ檢視の上屍體は長男へ引渡せり

●崇四洞の火事

九日午前十時四十五分頃京城崇四洞倉石果方より發火し常備消防出動瓦葺倉庫二間を燒失したるのみにて鎭火原因取調中

●電柱用材を盜む

京城麻浦桃花洞生れの劉文化（三〇）は旭町一丁目朴我化方にて人夫稼業中三日午後四時頃南大門驛裏手所在京城郵便局電柱置場に侵入し他に三名の人夫を使役し貯藏の松丸太を蓬萊町の林相浩方に運搬せしめ一圓十錢に賣却し內十七錢を人夫に支拂ひたる所を本町署の巡査に取押へらる

●日本醫專紛擾

東京日本醫學專門學校は過般來紛騷に紛騷を重ね有らゆる醜態を暴露しつゝあり遂に六日生徒の勸告に依り學生監鑑見長澤の兩氏辭職し同日午後六時教師全部校舍に集まり善後策を講じたるが未だ容易に治まるべき模樣なしと（東京）

●灌佛會

九日は舊四月八日に當り釋尊降誕の當日なりしより旭町一丁目眞言宗鳳閣寺外二三の寺院に於て降誕祭を執行したるが釋尊降誕の法會、講演、茶の接待等あり善男善女の參詣多數ありて各寺院共賑ひたり

●今場所の元氣力士

東では鐵ケ嶽、栃木、九州山、宇都宮、西では太刀山、朝潮、鳳、鳴門潟と評判された者が案外振はず元氣だ／＼と評判された兩大關、小錦が星を殘したり病氣したりして場所前の元氣は鬼すると當てにならぬともあるが今期巡業中の樣子を聞き京都に於ける東西大合併の稽古を見るに

△太刀山の强味

は依然として變りなく寧ろ一月よりは體量を增し腹も一層出て來た、强ひて缺點を上ければ腰に幾分か弱點はあるが性來の稽古好きが其缺點を補ひ得て餘ある、鳳に就ては世評區々で或は不元氣の爲め休場するだらうとの說さへ立て居る者もあるが京都に於ける中合に見るに出羽の海門下の精銳の何れに對しても一日の長ある事が認められた彼は場所の角力より確に

△稽古角力の方

が强い、實力がありながら成績が惡いとは何う云ふ譯であらうか中合では本場所の土俵に見るやうな愉快な危險氣が無い、大錦は鳳と反對で稽古場より本場所の土俵が强い、中合では九州、栃木、宇都宮に及ばず、殊に押されては甚だ脆い、彼は何うしても受けて取るべき力士では無い、今期の巡業中も自ら大に此點に顧みて工風を凝した結果押された時の用心に省を捲いて

△打棄る一手

を用ゐ出したが之れは可成り有效な如だ體はまだ一廻り大きくなつて現在では鳳より稍大きい朝潮は愈々晚成して力量取口何れから見ても大關として理想に近い發達を遂げた、公平なところ其强味は西海凪を凌駕し正に太刀山の次位にある今場所立入筋の最も興味を以て迎ふるのは彼が出羽の海門下の精銳を何う取りこなすかである栃木、九州の元氣に至つては前場所の延長と見ればよい、只だ九州の方が稍々好いやうに思はれる

△大蛇と宇都宮

は東西に兩々相對して眞に當にならぬ力士である、大蛇が京都の初日の中合に九州の出鼻を出投げを打つた呼吸などは見て居た檢査役の花籠（荒岩）をアツと云はせた位であつたが大錦と左四ツに渡つて十分の利勢を得ながら敵に捲きかへられ双差になられるまで無爲で居た所など彼が

△頭の利かない

證據である宇都宮は彼として未だ張り切つて居る程の元氣ではないが其れで居て强味から云へば當今出羽門下第一と云ふ評判で大錦などは常に負かされて居るが之は無茶苦茶流の猪武者で角力の理を知らないのだから强くつても一向當に成らぬ著しい進境を認めるのは大鳴門で西單中鳳、朝潮の次に指を折らるべき人であるが京都に於ける中合を見るに惜い哉立合の呼吸を知らない、彼れで立合を覺へたら大したものだ

金牌受領 髮を黑く長くつやを出しさらくとして髮の薄りを防ぐ妙 本椿香油

△浪花館○○ 大阪現友派女浪花節富澤千代女一行にて開演中なるが初日の七日夜及び八日夜共大入滿員の盛況を呈したり

△御成座○○ 歌舞伎俳優成東一座にて九日より開演せり初日の藝題は狂言祇園祭禮記中式三番叟引拔切替我物語なり

△壽座○○ 新派改正成團三輪一行にて開演中

△壽館○○ 九日十日兩夜若築會連の少年素人浄瑠璃大會開催の筈

△寶生會素謠會 京城寶生會にては來る十四日午後壹時半より黃金町清華亭に於て第六回素謠會を開催すべくその番組左の如し
△養老佐々木氏、ツ高橋氏、巢山氏△賴政佐藤氏、香村氏△雲雀山（遊藤氏、ヒ小宮氏、上田氏、ト平松氏）△蘆仲（翠川氏、ツ上村氏、子高島氏、鬮氏、村山氏）△鶴龜（吉住氏、ツ渡邊氏、波多江氏）△番外癸土

△崇禪寺馬場仇討 大正館にては來る十一日の取替日より崇禪寺馬場の大仇討を上場する筈なるが該仇討は反り討なる額に從來上演の場合には四谷怪談、天下茶屋、佐倉義民傳と同じく關係俳優等が御幣を擔ぎて必ず其靈を祭り狂言中は最も眞面目に演ずる狂言なるが大正館に於ても該狂言を上場するに先ち九日午後若草町開敎院に館員全部集合遠城兄弟の爲め冥福を弔ひ且つ本年は滿二百年忌に相當するより盛なる法要を營みたるが尙又開演の當日より館前へ兄弟の位牌及び當時の遺留品を陳列すべく又今回の役員に活躍する尾上松之助は曾て大每紙所報の如く自己の掴み出せる尾崎流の劒道を以て立廻りをなし惡吐なる仇討の場を見せる由

簿記 通學生 寄宿生 校外生 募集
開校廿五週年優待募集
東京芝櫻川町十一番地
私立認可 日本簿記專修學校

書道界の權威として「精華」筆は出現せり
◎「精華」筆は和漢諸名家のあらゆる筆法を自由自在に出し得る事を主として、各流派に應用の出來るやう最も新しき製作法に依り謹製せり

精華筆定價表（純白之部）

號	品名	直徑	用途	定價
一號	精華	五分三厘	大字用	一圓廿錢
二號	精華同	四分七厘		一圓
三號	精華同	四分一厘		五十五錢
四號	精華同	三分九厘	習字用	四十錢
五號	精華同	三分		三十五錢
六號	精華同	二分八厘		二十五錢
七號	精華同	二分六厘	[illegible]	二十錢
八號	精華同	二分四厘		十五錢
九號	精華同	二分二厘		十三錢
十號	精華同	二分		十錢

（兼毫之部）送料十本迄二錢

號	品名	直徑	定價
一號	精華	五分三厘	[illegible]
二號	精華同	四分七厘	[illegible]
三號	精華同	四分一厘	[illegible]
四號	精華同	三分九厘	[illegible]
五號	精華同	三分	[illegible]
六號	精華同	二分八厘	[illegible]
七號	精華同	二分六厘	[illegible]
八號	精華同	二分四厘	[illegible]
九號	精華同	[illegible]	[illegible]
十號	精華同	[illegible]	[illegible]

（精華筆發賣元）東京市神田區南神保町 振替東京一三八七二番 精華堂法帖店

てぐす 釣具製造卸元
△御値段表御申越次第進呈可致候
大阪市西區阿波堀通五丁目 魚谷テグス商會

無双 醇良淸酒
無害衛生 品質無双
首藤合名會社吟造
精白米御小賣 キリンビール
サッポロビール 醬油 龜甲萬
各種 シトロン 三矢印サイダー 各種
朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町（電話一一七一番）

銀行會社 事務員養成講義錄
所長從四位男爵鹿園貴儔◎本所の卒業生は各銀行會社の依頼に依り就職せしむ◎卒業六ケ月◎一ケ月四十錢◎速成二圓廿錢◎規則書郵券二錢封入申込あれ◎東京市京橋區三十間堀一ノ三 銀行會社事務員養成所

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話[illegible]番 振替貯金口座京城[illegible]番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話[illegible]番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

內科 小兒科 入院隨意
京城明治町（元善隣學校跡） 中島醫院 電話三七八番
院長 中島貢信

千生瓢 (207)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長湫 (八)

遥に列なる尾三の連山は、帯のやうに白い横雲に包まれてゐる、東の天が漸次に明るくなつて、巓の輪郭が少し判明した時、杜を離れた喜鵲の爽いた聲に啼きつれて、二羽三羽と飛び去るのが見ゐる。夜氣に冷ゐた朝風が、樹々の青葉を搖つて颯と吹くと、白くなつた篝火が、烟を曳いて閃々と伏し靡く、草の香と、花の香とが一つになつて、夜を徹した番士の鼻孔を撫でると、一時氣が確乎とする。やがて番屋の方から、柝木の聲が覺よく～と響いて來た。

細く弱くなつた篝火を滅すと、一時淡暗くなつた四邊の風物が、一つ一つ其姿を現はして來る。麓の田には咲き亂れた紫雲英の、花毛毯を敷いたのが見ゐ初めた。番士は槍を取り直して、詰の番士と交代の來るのを、今か～と待つてゐた。

まだ引き殘る下闇の陰を縫つて、潜び寄る人影が見ゐた。番士は急度槍を構へて覗くやうにして其の方に目を配つた。黒い影は身後にばかり氣を配つて、前に擠む人のあるのは、少しも心著かぬらしかつた。

「誰何!?」

一喝して目前に槍を突きつけると影の主は吃驚して其處に平伏した。

見れば紛れもない此の邊の農民と覺しく、律義らしい相貌には、何處にも人の秘ひを惹くべき點はなかつた。

「誰何、何處へ參る」

番士は重ねて訊ねた。農民は瞠つた目を瞬もしないで、

「徳川様の御本陣は此方おざりまするか」と問ひ反した聲には、恐れたらしい顫動も見ゐなかつた。

「其方は何者か」

番士は猶油断せずに、槍を突き付けたまゝで訊ねた。

「手前は當郷篠木郷内津村の百姓おざりまする、御本陣へお通し下さりませ」

「何用ぢや。仔細を申せ」

「胡亂な者ではおざりませぬ。先祖代々浄土宗門の者におざります。徳川様御一大事の儀に付、御重役方まで申し上げるやうと申して、手前總名代に罷出まいておざりまする」

「何、御一大事ぢや?」

番士は槍を控へて、足に突立つた農民は聲を潜めて、

「一向宗の門徒に謀叛の企てある事慥に聞き及んでおざりまする」

「叱ッ、待たうぞ。只今御本陣へ案内致し遣はす」

番士は呼子の笛を鳴らして、交代の士を呼び寄せ、自ら東道して當日の當番本多作左衛門重次の陣所に伴つた。作左衛門は一應番士の言ふ處を聞いて、其まゝ農民を自分の詰所に呼び入れた。而て昵近の侍士をも退けて、さし向ひになつた上、靜靜かに訊ぬるのであつた。

「一向宗門徒に謀叛の企てあると申すか。急度其に相違ないかの?」

「恐れながら申し上げまする、篠木柏井二郷中の門徒共、池田殿と申し合せて、上方勢に與力致す事と相成つておざりまする。」

「二郷の門徒何程あるかは存せぬが、商が百姓共の集り勢、謀叛致せばとて、何程の事があらうぞ。注進と申せば、唯夫だけか」

「いゐ～是丈ではおざりませぬ。與力加擔の門徒共、地下に於て火を放ち、掠め動く上に、一方は池田殿を案内して、三河の國に討ち入り、彼地の門徒と申し合せ、岡崎、吉田を取り切つて、御後を斷ち切らう企て、而も今夜發向をおざりまする」

彼は息つぎあへず物語つた、其事しき動作を見るにつけても、作左衛門は流石にうち驚かされた。

「何、池田入道篠木柏井の門徒を案内として、今夜三河へ討入るとな?」

「御意おざりまする。我等は代々浄土宗門の者、日來から門徒とは仲の宜き者おざりませぬ。其故この一議にも仲間を省きて相談は仕りませねど、孰れも確と聽き糺して御注進に及びました次第、何卒御用心下されませう」

彼は正しく律義の注進であつた。作左衛門は匆々に座を起つた。

◇石に對して歌へる一つ　永登浦　井上　榮吉

初春の或日……。
私は崩れた城跡の石に倚つて
靜かに、靜かに――瞳を閉ぢた。
何千年前に生れたのだらう
一體。この石は。
私には分らない
お前はそれから、何年の間
石としての生を保つて來たのかね。
それは私も知つて居る。
けれど今は最早生きては居ない筈だ
今、私が腰を据ゐて居る石よ――
お前は何にも言はないね、
言はなくても私は知つて居る。
お前がこの城の礎となつた、
その華やかな過古よ
おい、そうだ
――お前は何も言つてはいけない。
(五、四、二五)

公州山城吟社第五回句吟集　燕、暮の春、蛙。

彌勒尊に嚢落したる燕哉　不思郎
零落の軒に來て住む燕哉　友萍
ゆつたりと行く春に泣く我れ愚也　同人
解さうに春は暮けり河の面　同人
家給し人足る村や燕　同人
鶴嘴に燕危し道普請　同人
燕や猫欠伸する椽の先　同人
行く春や夜をこめて聽く色懺悔　同人
村出せし五作の畑や暮の春　同人
行く春や倫落の女餅を賣る　同人
去年寶りし此五反田や蛙鳴く　同人
物干に故郷戀ふれ燕哉　石人
愚痴多き文書き捨て春惜む　城兎
燕や潮香み吐く黒き岩　鳥人
散る花の丘の祠や燕　同人
雨注ぐ地上の紅や春惜む　同人
籠村は只星更けてなく蛙　同人

◇つぶやき　芳草生

さして下駄はいて菖蒲を買れり
おもかげは似たるそ菖蒲買ひかな
菖蒲飲は立ち止り聞く小鳥の
鳴く蛙鳴き園のつぶやきに似て
小き竿は屋根より木へと雨蛙
鳴く蛙せの籠鳴れ新木の匂ひ

日本一　創業三百有餘年
清酢　マルカン印
各地到る所の酒醤油店に販賣せり
特約店　日本醤油株式會社出張所　京城太平通二丁目　電話二四五番

新刊紹介

▲農業雑誌(五月號)　發行を重ぬる事四千一號を算する斯界雑誌界の嚆矢と謂ふべし本號には五石收穫米作法、石油乳劑の製法と使用法稚蠶の强壯飼育法、柑橘苗植ゑ方其の他十數の記事皆農家必讀の好文字(六錢東京市麻布區學農社)
▲兒童研究(一九の一〇)兒童の精神と身體との學術的研究に關する事項を集録せるものにして兒童の身體解剖生理心理より養護教育法律等に至る迄あらゆる範圍に渉りて兒童問題の研究に資せり(十六錢東京市本郷區向ケ岡一〇五發行所)
▲日本醫療新聞(三六〇)發禁の政に關する各種の問題を主として既に發生したる事實問題を捕へて研究せんとするもの(五錢東京市芝區愛宕町二ノ一四其社)
▲都會及農村(五月號)　商熟延期は現今の要よふべき問題なり中央集權地方分權の可否論は刷さして本誌に詳しよく此の問題に運著する各種の實際問題を論じたるもの一讀の價値あり(十五錢東京市麹町區平河町五ノ三六洛陽堂)
▲家庭の友(一四の五)家庭に於ける主婦の任務責任は重大なり本誌は主婦をして此の貴任を完全に遂行せしめんとの主趣より家庭に於ける教訓衛生經濟交際料理其他百般の必要なる記事を蒐めたるもの(十二錢東京市本郷區千駄木町三九其社)
▲實業界(五月號)　本誌は常によく社會の趨勢を洞察し殊に廣告術に就て深き注意を拂ひたる廣告度胸の力販賣を助ける本能封入廣告の參考會議新案其他の各種鑑て實務上の好資料(二十五錢東京市早稲田大學商同文部)
▲ツーリスト(一九)　日本の名勝古跡温泉等の案内印象紀行等より其の開發に關する記事を和英兩文にて掲せたり旅館營業者にはなくてならぬ雑誌なるべし(非賣品東京驛内其ビユーロー)
▲農家(五月號)　農は國の大本なり之が健全なる發達を計るは人口激増の今日特に其の必要を感ゆ本誌は農家の爲め各種の有益なる實際上の研究改良の方法を訓ゆ一代雑種の製造法家庭で繩作る御使ひなさい遺傳の話等興味深き記事多し(十錢東京市小石川區宮下町七農友社)
▲學校教育(三〇)　廣島縣高等師範學校教育研究會の編輯に係る本誌は各學校の教授訓導教論學總て實際教育の任に當れる士の研究の結果を發表せり我が民族の擴張性と修身教授社會意識の發達の起源を論じて兒童の社交性に及ぶ戰時に於ける國民の心理的變化等唯に教育從事者のみならず一般に讀めたき好文字なり(十八錢東京市日本橋區本石町三寶文館)
▲公私經濟(二の五)　時局は世界的經濟界の變調を生めり此秋に當つて經濟界各種の現象を研究するは蓋し興味深き業たらずんば非ず本誌は其號所載の論説記事常に善く此の大勢に樂じ變化に應ずるを得る本號時局と我對外貿易經濟同盟を論じて阪谷男に與む財政膨脹の前途時局勃發以來の企業界其の他皆見るべし(十五錢東京市麹町區内幸町其社)
▲東亜之光(一一の五)　吉田、辻、佐々木の三文學博士、武藤、河野、齋藤、渡邊の四文學士、佐藤海軍少將等の文學、宗教、戰亂其他に關する徹底的論説は多く他に見ざる處(二十四錢東京市本郷區駒込千駄木町東亜協會)

子宮病血の道とヒステリーに神疵湯
悩む人は
彼れ是と迷ふ事無く最も能く效く神疵湯を試よ現に百方手を盡すも効なき難症の血の道や多年不治のヒステリーや數年難治の子宮病の方々が神疵湯の連服で漸次快癒し嬉しの餘り感謝な狀(現在保存す一般の閲覧に供す)を送らるゝ實例も夥しからず若し不幸にも是等の病に悩む人あらば症の輕重と難症の論なく早く試服あれ神疵湯は實に全國各藥店にあり
本劑は せんき リウマチス 神經痛 子宮 血の道 ヒステリー 慢性 胃腸 頭痛 めまい 腰痛
本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎

京日案内
普通 番外

▲店員入用 年齢十七八歳本人來談 京城本町一丁目 大阪屋號書店 418
外務員募集 但し市内に相當知己あるもの希望者は直接來店あれ 京城本町二丁目 町田新聞部
▲キヤラメル キヤラメルは滋養に富む 京城藤商會
▲小説 文學書 辭典 古本買受 申候 京城本町二ノ三ニ ツボヤ書店 158·413
意匠保證金參百圓也 集金又は測量に經驗ある方 京城本町二丁目 吉本支部
南郷 少資本で誰にも出來る有利な仕事 商店會社員 406
有給外交員 經驗ある方 411
◎植付後六年成績良好 譲渡 桑樹園 城外梨園 希望者は本人來談 404
◎古本なら高價買入 京城本町一丁目 野村書店 142
古本無代高價買入 御試寶を乞ふ 御通知即刻參上 京城本町四丁目 二七八一番 群書堂 199
鑛山用機械類並採鑛用具 マグネット 新荷着 京城南大門外 電話二九四〇番 京僧商會 417
▲滋養純粹 住味豆乳 ▲玄米乳 月七十錢 配達迅速 414
鑛物定量分析 坂元分析所 京城太平通二ノ一二五 電話一三四四番 416
御得意廻り員入用 年齢廿歳以上卅歳迄酒商に經驗ある者にして確實なる保證人を要す 京城永樂町二 米正 新居酒店 407
▲玄米乳 にせ物御用心 京城北米倉町 電話一五四七番 玄米製乳舎 113
三越殿下の台覧を辱ふする名誉の 女學講義録 新學期開講 入會最好機 修身 132
魔法瓶中瓶取替 ゴム引マント其他色々 防水カッパン 京城本町一丁目 高木旅行用具店 166
蜜蜂注文の好時機 湖南線羅州 湖南養蜂場 185
恩立替 年賦金 博多屋本店 (京城櫻井町大正館前) 192
家傳 りん病三日藥 服んで即日効驗ある不思議の妙藥 京城明治町二丁目四二 朝鮮發賣元 297

日韓書房 新版報告
日蓮上人 高山樗牛著
學修法 澤柳政太郎著
我子の美德 大村仁太郎著
我子の惡德 大村仁太郎著
太郎は如何に教育すべきか 大村仁太郎著
京城本町二丁目 日韓書房

製造元とのやくそくで 他の日用品、家具、化粧品 割の安い品そろいの 砂糖、麥粉、寶、金巾、燐寸、石油、洋蠟 鍋釜、紙、安物、雜貨 京城 大おしろ店 仁川本町 河野本店 電話二八番

新刊書御案内
新々英和辭典 三省堂 一〇
はめ手 將棋新報社 四
朝鮮諸官廳必讀法律講義 六
貨物最後の手段 六
浮城物語 九
策 七五
新譯紅樓夢 一〇
入攻で女として 一〇
日用新手紙の文 八
佛教史論 三
現代米國外交論 三
歐洲戰の現在及將來 三
局方解析 五
鐵道補佛教思想講話 五
世界統一 九
カイゼルの裏面 九
音樂の原理 二〇
産業帝國主義 一〇
蒙古通誌 三〇
銀行簿記精義 二〇
二千五百年史 二〇
大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三番

吉田りん病　ばいどく書
麻病藥王藥は治淋劑として梅毒王藥は驅梅劑として最も有効と確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せらるゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓を呈す
◎あらゆる治療を講ずるも効なき患者兎に角一度相談あれ
京城 にせ物に注意、商會のにせ物隆盛を極み東京大連青島其他到る處僞物を賣る奸商あり商會製劑を御購求の諸君は大阪有田藥鑑製を御買取可被下候
◎詳細は本月三日の京城日報御覧
各地に僞ドラッグあり御注意
大阪ドラッグ商會 京城南大門外 グラドダ

亡息安二儀 葬送の節は遠路態々御會葬被下難有奉謝候 混雜中御芳名伺洩れも可有之候に付乍略儀以紙上御禮申上候
五月十日 父 淺松太郎 親戚一同

京城春川間自働車運轉 京城發午前八時 春川發午前九時 京城南大門通一丁目二十三番地 廣橋京春自働車組 電話二一九番

金泉醴泉間自動車時間 金泉織居自動車支部

大阪商船仁川出帆 群山、木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 安東丸 五月十二日 正午出帆 天草丸 五月十七日 須磨丸 五月十三日 信濃川丸 ...

日本郵船仁川出帆 大連、太沽、牛莊行 相模丸 五月十一日 正午出帆 高砂丸 五月廿三日 三河丸

共同汽船仁川出帆

朝鮮郵船出帆

尼崎汽船仁川出帆 大正丸 神戸丸 大阪丸 吉代丸 秀代丸 君が代丸

汽船釜山出帆廣告